

平成29年度  
福島県保育士登録者へのアンケート調査  
報告書

平成30年3月

福島県こども未来局子育て支援課

社会福祉法人福島県社会福祉協議会  
(福島県保育士・保育所支援センター)

## はじめに

福島県では、今後も見込まれる保育ニーズの増大に対応するため、保育士の方が安心して働き続けられる環境の整備や、保育士資格を持ちながら何らかの理由で今は働いていない方の就労を支援するなどの取組みがさらに必要になると考えております。

このため、福島県に保育士登録をされている約2万人の方に対する現況調査を行い、保育士としての現在の就労の有無を確認するとともに、別に実施する実態調査「保育士として就労されていない方に対するアンケート調査」への協力の可否について確認させていただいたところです。

その後、実態調査に協力すると回答いただいた方に対し改めて調査票を送付し、現在の就業状況や保育の仕事を辞めた理由、保育士として働くために求める条件などについて調査を実施しました。

これらの調査により、多くの皆様から保育士の就労環境に関し、貴重な御意見をいただいたところであり、本調査の結果を十分に踏まえながら今後の本県の保育行政に活かしてまいりたいと考えております。

最後に、調査に御協力いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。

平成30年3月

福島県こども未来局子育て支援課

社会福祉法人福島県社会福祉協議会  
福島県保育士・保育所支援センター

# 目 次

## I 調査概要

1. 調査目的	2
2. 調査スケジュール	2
3. 調査の内容	
(1) 現況調査	2
(2) 実態調査「保育士として就労されていない方に対するアンケート調査」	4

## II 実態調査結果「保育士として就労されていない方に対するアンケート調査」

問1 基本属性	
・性別	7
・年齢	8
・子どもの有無（子どもの数、末子の年齢）	8
・居住市町村	11
・資格取得方法	14
問2 現在の就業状況	15
問3 保育士として仕事をしていない期間	17
問4 保育士を辞めた理由	18
問5 保育士として働かなかった理由	22
問6 保育士として仕事をするについての意向	25
問7 保育士として働く場合に求める条件	
① 雇用形態	28
② 通勤時間	34
③ 就職先を選ぶ上で重視すること	35
問8 情報提供希望	40
問9 保育士として働くことへの不安・必要な支援	41

## III 巻末資料

1. 現況調査（依頼文・回答票）	43
2. 実態調査（依頼文・調査票）	45

# I 調査概要

## 1. 調査目的

福島県の保育士登録者に対し、保育士としての就労の有無の確認(現況調査)を行うとともに、現在、保育士として就労していない方に対する実態調査を行い、離職の理由や再就職の際に希望する雇用条件などを把握する。併せて、保育士として再度就職を希望する方の掘り起こしを行い、就職支援につなげることで保育士の確保を図る。

## 2. 調査スケジュール

平成 29 年 6 月 8 日 (木)	現況調査の発送 (対象者 20,261 人)
〃 6 月 16 日 (金)	〃 の回答〆切
〃 7 月 12 日 (水)	実態調査の発送
〃 7 月 28 日 (金)	〃 の回答〆切
〃 8 月 10 日 (木)	〃 (追加回答者) の発送
〃 8 月 25 日 (金)	〃 〃 の〆切

## 3. 調査の内容

### (1) 現況調査

#### ① 実施主体

福島県

#### ② 調査対象

保育士登録制度開始時(平成 15 年)から平成 28 年 12 月 13 日までに福島県に保育士として登録済みの者 20,261 人

#### ③ 調査期間

平成 29 年 6 月 8 日(木)～16 日(金)

#### ④ 調査方法

ア 県が保育士の登録業務を委託している社会福祉法人日本保育協会・登録事務処理センター(以下「登録事務処理センター」という。)に対し、保育士(変更)登録者に保育士証を郵送した住所について、県から情報提供を依頼した。

イ 県は、登録事務処理センターからの登録者の住所の提供を受け、返信用封筒を同封した調査票を郵送した。

## ⑤ 調査内容

現在の就労状況の確認及びその後行う実態調査「保育士として就労されていない方に対するアンケート調査」への協力の有無

## ⑥ 回答結果

- 回答票回答率 49.8% (回答人数 8,175 人)
- 回答者のうち、現在、保育士として就労していないと回答した者 42.4% (3,470 人)
- 保育士として就労していない者のうち、その後行う実態調査に協力すると回答した者 2,670 人

・送付人数	20,261 人 (a)
・宛先不明で返信された人数	3,846 人 (b)、(b/a 19%)
・回答人数	8,175 人 (c) (回答率 : $c/(a-b)$ 49.8%)
・cのうち、保育士として就労していないと回答した者	3,470 人 (d)、(d/c 42.4%)
・dのうち、実態調査に協力すると回答した者	2,670 人 (e) (e/d 76.9%)

## (2) 実態調査「保育士として就労されていない方に対するアンケート調査」

### ① 実施主体

福島県（福島県保育士・保育所支援センターに業務委託）  
社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

### ② 調査対象

(1) の現況調査においてその後行う実態調査に「協力する」と回答した者 2,670 人

### ③ 調査期間

(1) の現況調査の回答〆切以降も多くの回答が届いたため、2回に分けて実施した。

第1回 平成29年7月12日（水）～28日（金） 2,280人

第2回 平成29年8月10日（木）～25日（金） 390人

### ④ 調査基準日

平成29年7月1日現在

### ⑤ 調査方法

福島県保育士・保育所支援センター（以下、保育センター）が、調査票を対象者に郵送し、返信用封筒で対象者が保育センターに直接返送する調査方法。

### ⑥ 調査内容

巻末に掲載した調査票のとおり。

### ⑦ 回答結果

調査票回答率 66.7% （送付人数 2,670人、回答人数 1,782人）

### ⑧ 調査結果の概要

#### (a) 回答者の基本属性 (7～13 ページ参照)

今回の調査の回答者は、女性が96.9%、年代は30代が最も多く27.2%であるが、20代から60歳以上まで幅広い年代から回答があった。

子どもの数は2人と回答した方が45.1%と最も多く、末子の年齢は20歳以上が39.9%と最も多く、次いで5歳未満が29.5%となっている。

居住地については、福島県内居住が9割近くを占め、市町村別では郡山市が18.4%と最も多くなった。

#### (b) 現在の就業状況と保育士として仕事をしていない期間 (ブランク) (15～17 ページ参照)

就業状況は、「現在、働いていないが、過去には保育士として働いた経験がある」が44.1%と最も高く、次に「現在、保育士以外の職種で働いているが、過去には保育士として働いた経験がある」が33.3%で、一度は保育士として働いた経験がある人は77.4%であった。

年齢別にみると、一度も保育士として働いたことがないと回答した人の割合は、20代が35.2%と最も多くなった。また、ブランクが長くなるにつれ「現在、働いていないが保育士としての仕事経験あり」の割合が低くなり、「現在、保育士以外の職種で就業中、保育士としての仕事経験あり」の割合が高くなっている。

保育士として仕事をしていない期間 (ブランク) は「1～5年未満」「5～10年未満」を合わせると約半数を占めている。

#### (c) 保育士としての仕事を辞めた理由 (保育士としての仕事経験がある者) (18～21 ページ参照)

保育士としての仕事を辞めた理由としては、「給与への不満」が24.8%と最も高く、次いで「仕事量の多さ」が24.6%、「妊娠、出産」が21.2%、「家族の事情」が20.7%、「結婚」が19.8%、「職場の人間関係」が18.0%となった。

年齢別にみると、20代では「仕事量の多さ」に次いで「給与への不満」「職場の人間関係」が多く、30代・40代では「給与への不満」「妊娠、出産」「仕事量の多さ」、50代では「家族の事情」、60代では「定年退職」「家族の事情」が高くなっている。

#### (d) 保育士として働かなかった理由 (保育士としての仕事の経験のない者) (22～24 ページ参照)

一度も保育士として働かなかった理由としては、「条件に合致する求人が無かった」が29.4%と最も高く、次いで「自分は保育士に向かないと感じた」が22.5%となった。

年齢別にみると、20代では「自分は保育士に向かないと感じた」が40.3%と最も高くなっており、30代以降では「条件に合致する求人が無かった」が最も高くなっている。

「その他」の回答では、養成校で資格を取得した方は複数の資格を保有している事が多いため、「幼稚園教諭や介護福祉士として働いた」という回答が多かった。

#### (e) 保育士として仕事をすることについての意向 (25～27 ページ参照)

保育士として仕事をすることについての意向を年齢別でみると、20代・40代は「現在の職

場よりも雇用条件の良いところがあれば考えてみても良いかと思う」、30代は「子育てが一段落したらやってみたい」と回答した割合が一番高くなったことから、今後の状況・雇用条件によっては、保育士として働く意向がある事がわかった。

一方、50代・60歳以上では年齢的・体力的なことから「保育士として働くつもりはない」の割合が高くなっている。

ブランク別でみると、ブランクが1年未満では「条件に合う求人があれば、すぐにでもやってみたい」の割合が25.9%と一番高いが、ブランクが長くなるにつれその割合は低くなっている。逆に、「研修や職場体験に参加した上で考えたい」の割合は、ブランクが長くなるにつれ高くなっている。

(f) 保育士として働く場合に求めるもの (28～39 ページ参照)

雇用形態の希望は、「パートタイム」で働きたい人が70.7%で、いずれの年代でもフルタイムの割合より多くなった。

末子の年齢別では、10～15歳未満では、フルタイムの希望が最も高く、フルタイムとパートタイムの希望がほぼ同じ割合となっており、末子の年齢が高くなる、あるいは低くなるに従ってフルタイムの希望が減りパートタイムの希望が増えている。

また、パートタイムで働いた場合の1日あたりの勤務時間は「5時間」が33.1%と最も多く、次いで「6時間」が29.7%、時間帯は「朝9時～15時まで」を希望する割合が高い。

1週間の勤務日数は「3日」が39.7%、次いで「5日」が28.5%、「4日」が25.5%であり、時給は「1000円～1500円未満」が36.6%と最も高く、次いで「900～1000円未満」が34.3%となっている。

フルタイムで働いた場合の年収の希望は「300～400万未満」が41.4%で最も高く、次いで「200～300万未満」が33.9%であった。

通勤時間は、「30分以内」が45.6%、次いで「20分以内」が42.9%とそれぞれ半数近くを占め、全体でも「30分以内」での通勤時間を希望している方が約92.8%と高い割合を示した。

就職先を選ぶ上で重視する事は「職場の雰囲気」が84.5%と最も高く、次に「給与」70.3%、「勤務体制」70.0%となっている。

年齢別にみると、20代、40代は、「職場の雰囲気」「給与」「勤務体制」が高く、30代では、「職場の雰囲気」「給与」に次いで「子育てと両立できる」が高くなっている。50代以上では、「職場の雰囲気」に次いで「勤務体制」と「園の運営方針や園長・主任などの考え方が同程度となっている。

(g) 情報提供希望者 (40 ページ参照)

今後、福島県保育士・保育所支援センターから就職に関する支援や情報提供を受けたいと回答した方は、391人であった。

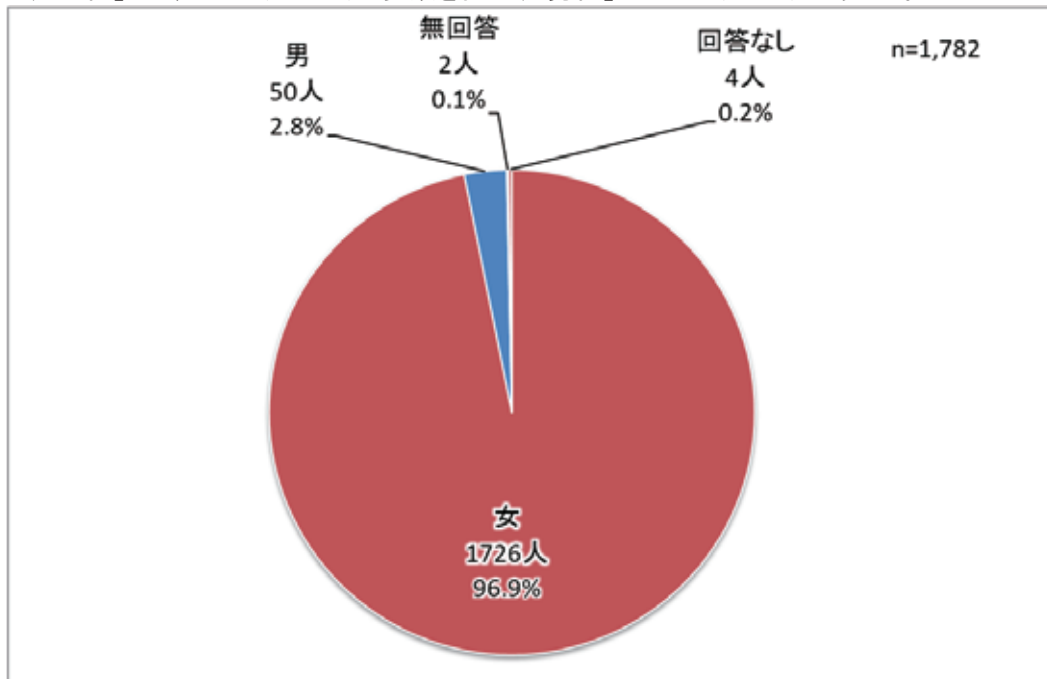


## Ⅱ 実態調査結果「保育士として就労されていない方に対するアンケート調査」

### 問 1、基本属性 ○性別

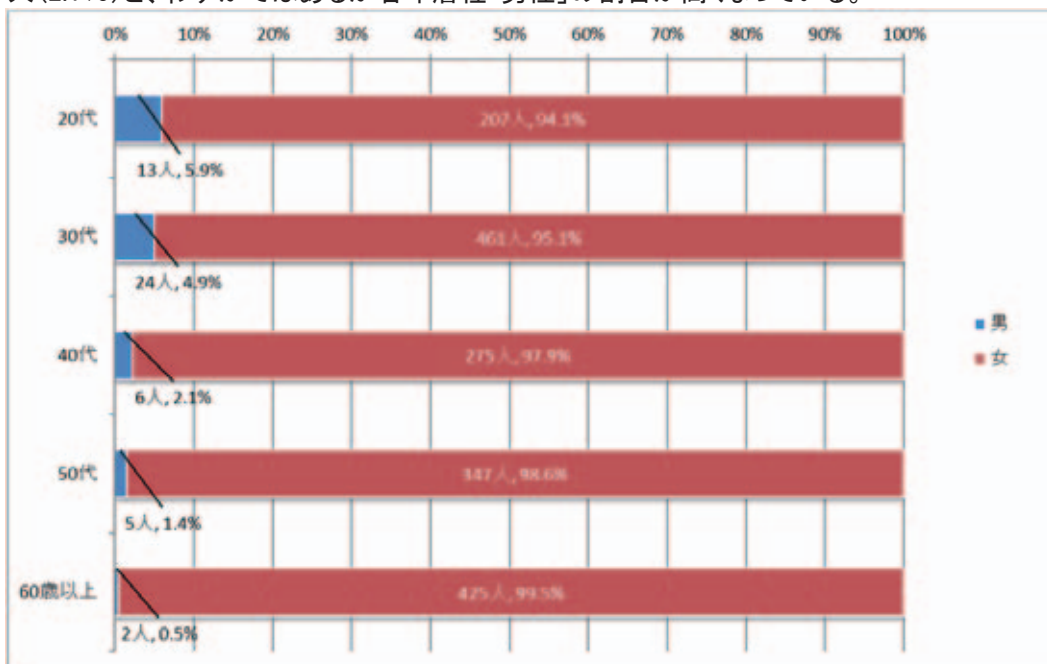
#### 【全体】

性別では、「女性」が 1,726 人(96.9%)と多数を占め、「男性」は 50 人(2.8%)であった。



#### 【年齢別】

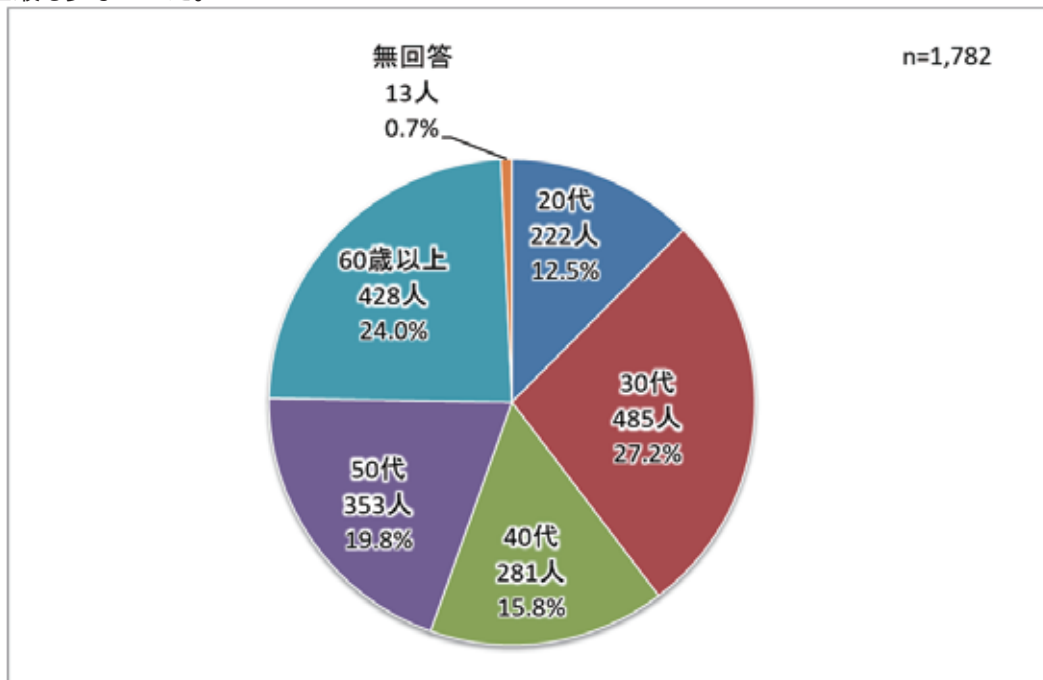
性別の年齢別クロス集計では、「男性」の割合について、20代が 13 人(5.9%)、30代が 24 人(4.9%)、次に40代が 6 人(2.1%)と、わずかではあるが若年層程「男性」の割合が高くなっている。



## 問 1、基本属性 ○年齢

### 【全体】

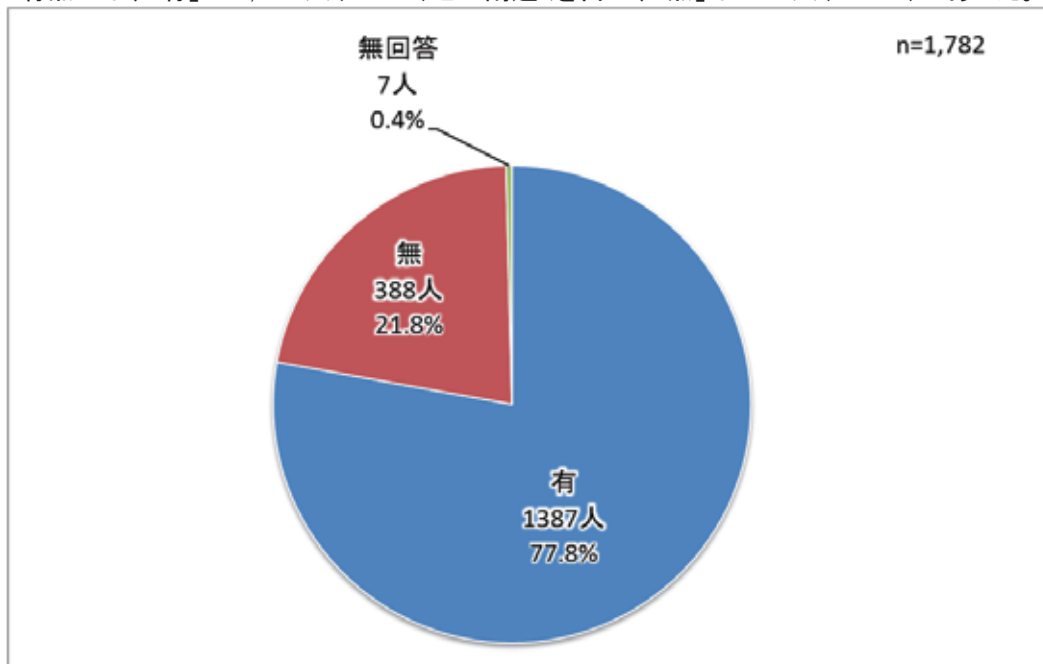
年齢では、「30代」が 485 人(27.2%)と最も多く、次いで「60歳以上」が 428 人(24.0%)、「20代」は 222 人(12.5%)と最も少なかった。



## 問 1、基本属性 ○子どもの有無

### 【全体】

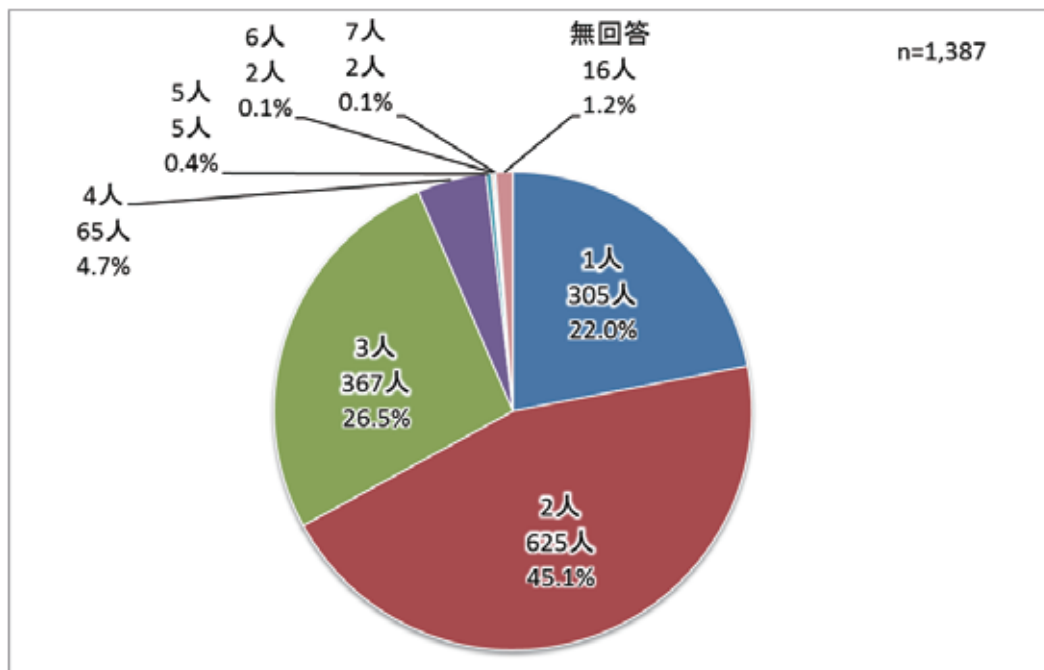
子どもの有無では、「有」が 1,387 人(77.8%)と 8 割近くを占め、「無」は 388 人(21.8%)であった。



## 問 1、基本属性 ○子どもの数

### 【全体】

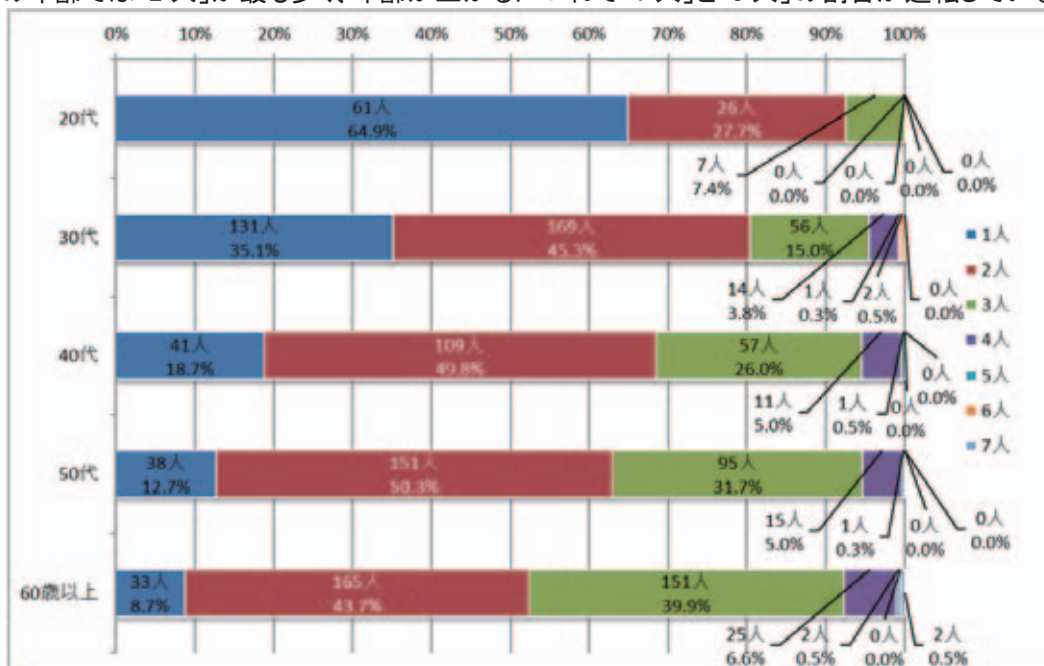
子どもの数では、「2人」が625人(45.1%)と最も多く、次いで「3人」が367人(26.5%)、「1人」が305人(22.0%)であった。



### 【年齢別】

子どもの数の年齢別クロス集計では、20代では、「1人」が61人(64.9%)と最も多く、「3人」は7人(7.4%)にとどまっているのに対し、60歳以上では、「1人」は33人(8.7%)で、「3人」が151人(39.9%)に上っている。

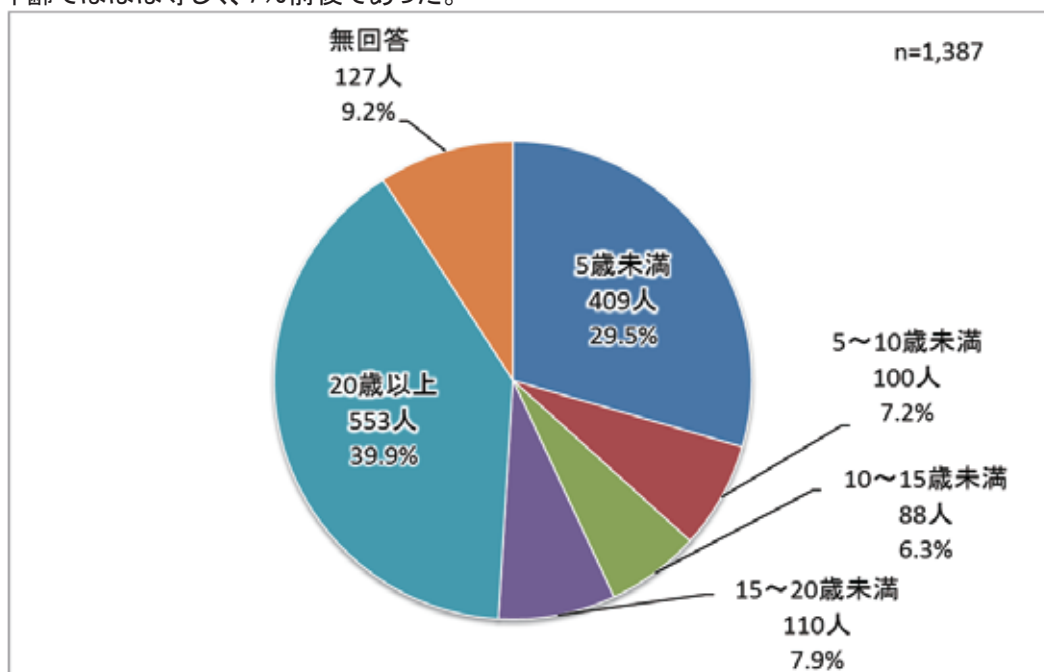
その他の年齢では「2人」が最も多く、年齢が上がるにつれて「1人」と「3人」の割合が逆転している。



## 問 1、基本属性 ○末子の年齢

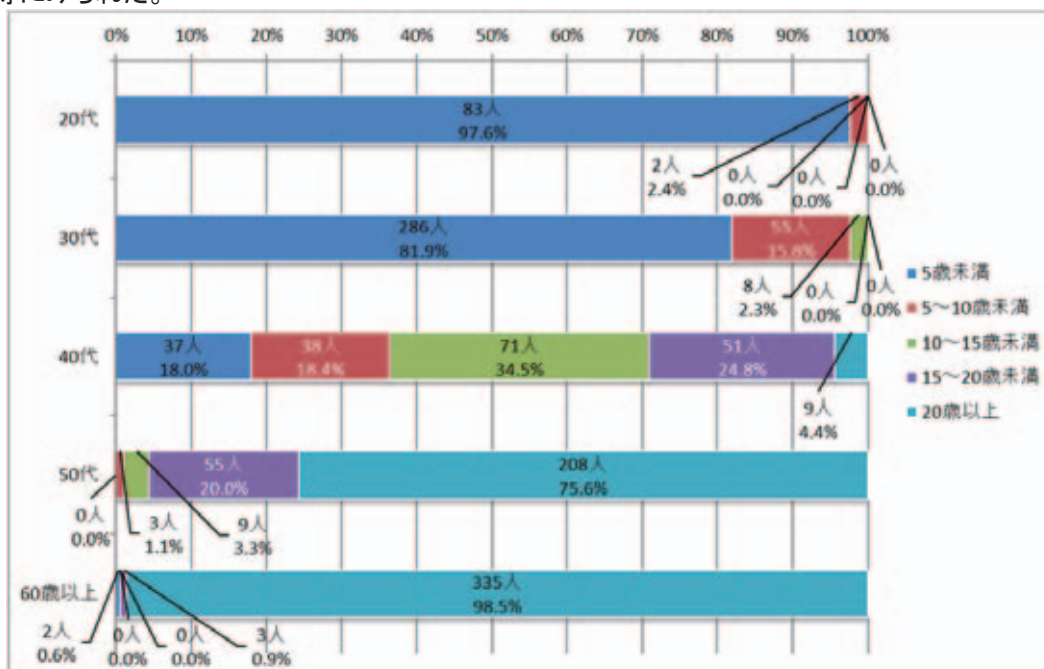
### 【全体】

末子の年齢では、「20歳以上」が 553 人(39.9%)と最も多く、次いで「5歳未満」が 409 人(29.5%)であった。その他の年齢ではほぼ等しく、7%前後であった。



### 【年齢別】

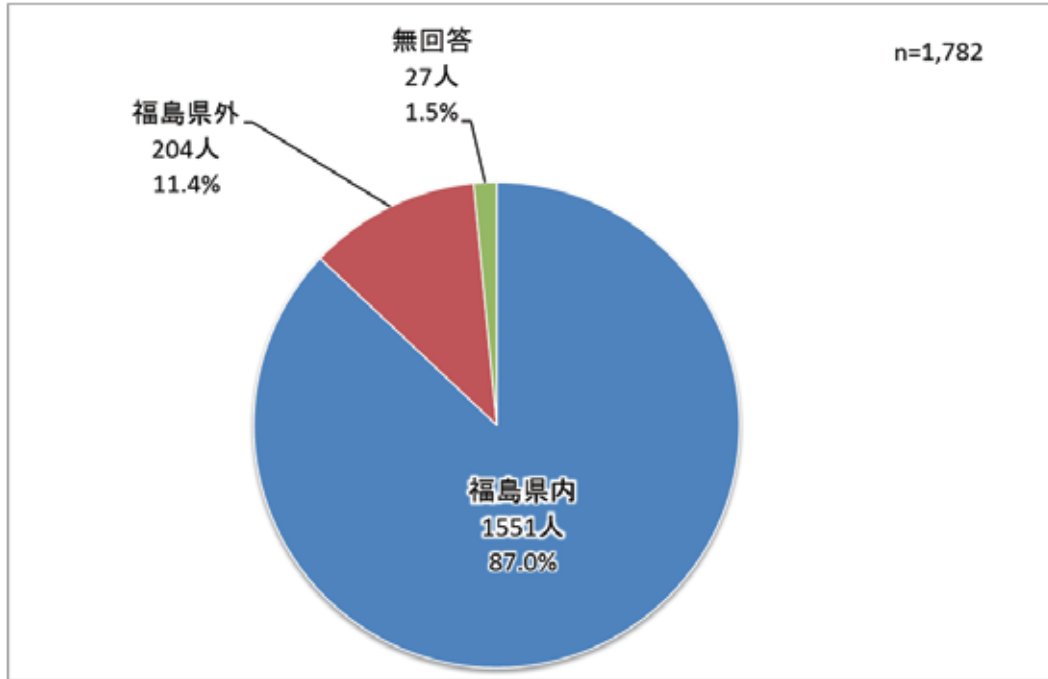
末子の年齢の年齢別クロス集計では、20代と30代は「5歳未満」が8割から9割以上を占め、50代と60歳以上ではほとんどが「20歳以上」となっている。40代では、「10～15歳未満」が最も多いがそれ以外の年齢についても均等にみられた。



## 問 1、基本属性 ○居住市町村

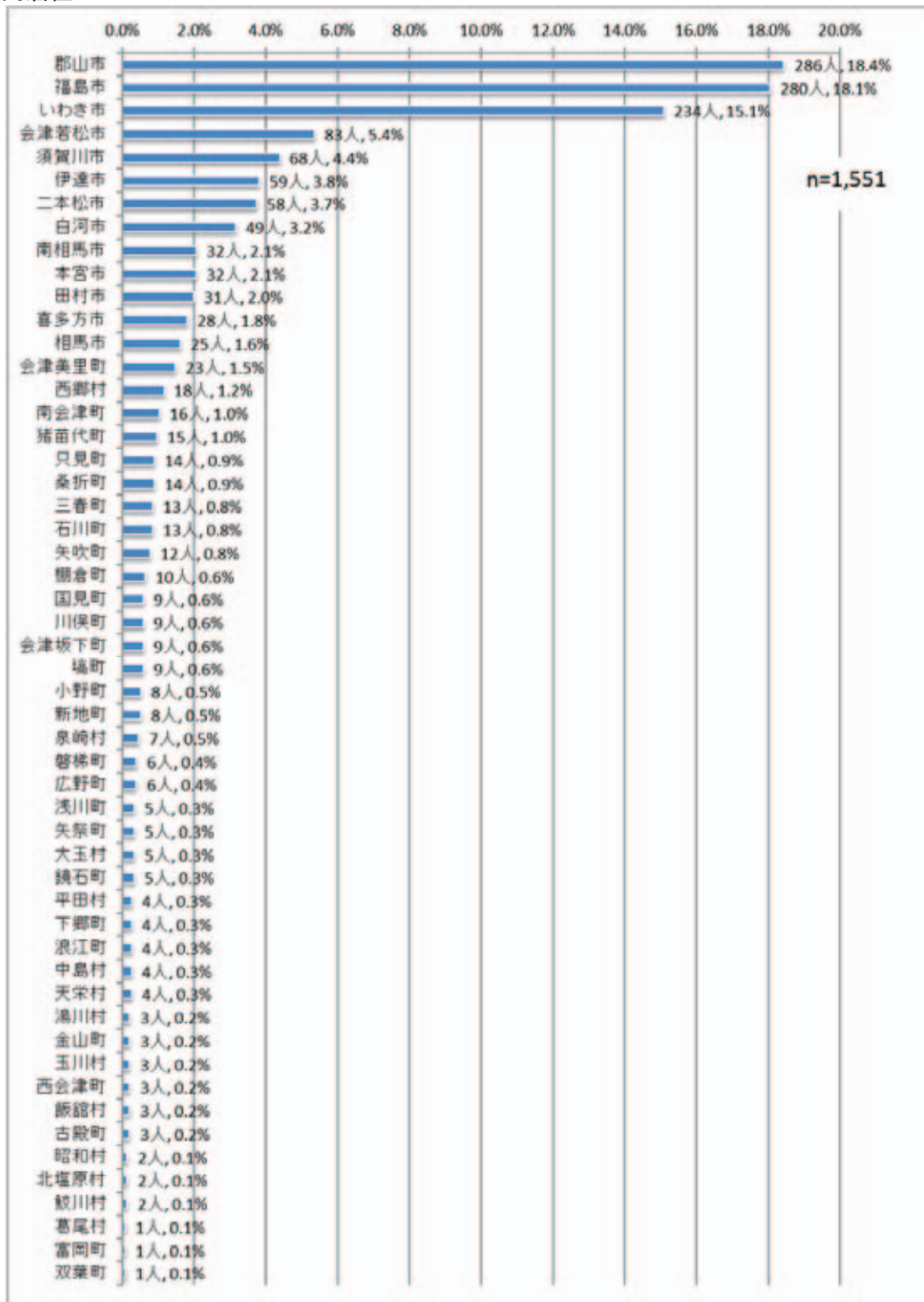
### 【全体】

居住市町村では、「福島県内居住」が 1,551 人(87.0%)と 9 割近くを占め、「福島県外居住」は 204 人(11.4%)であった。

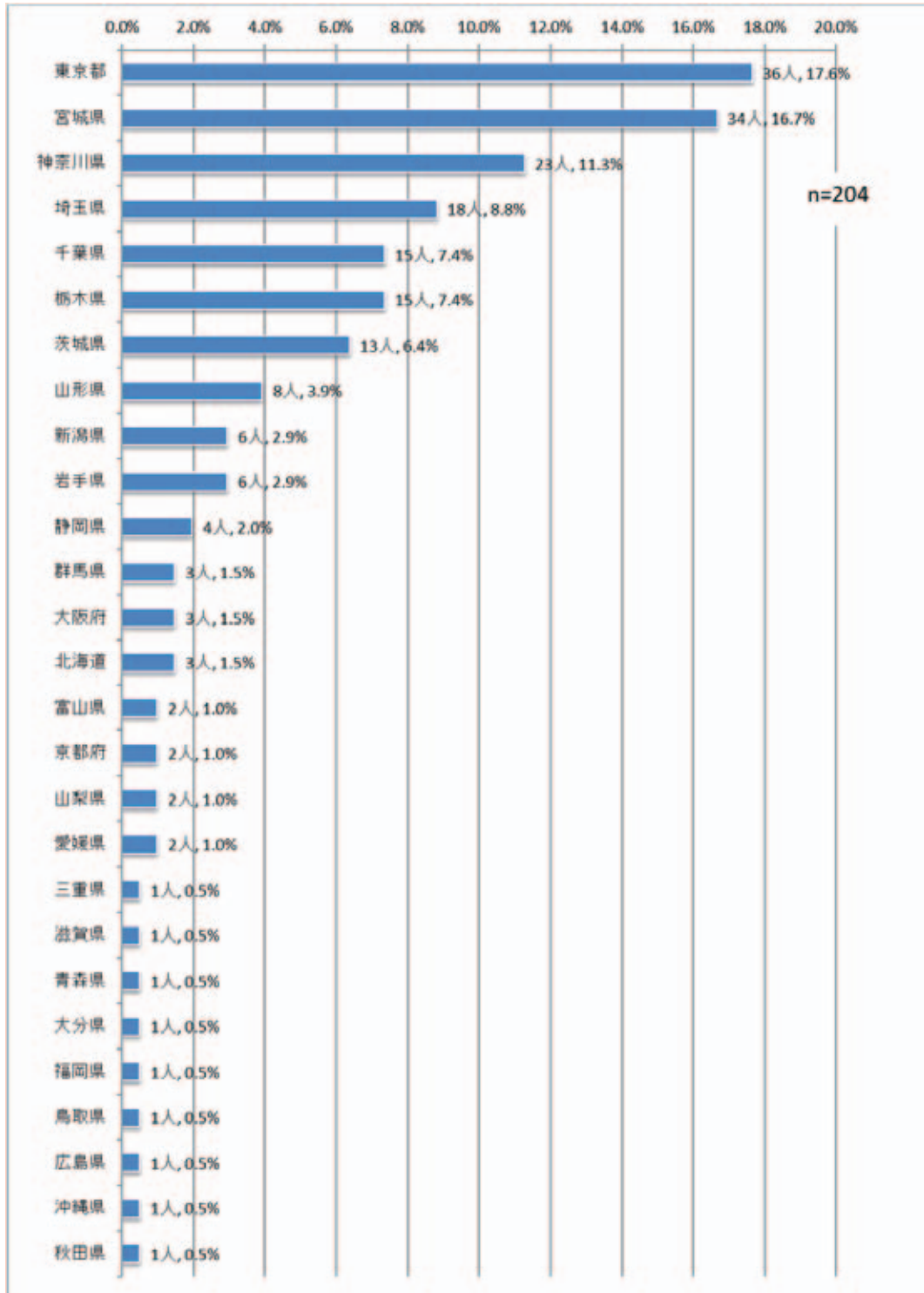


居住市町村の内訳は以下の通りであった。

福島県内居住



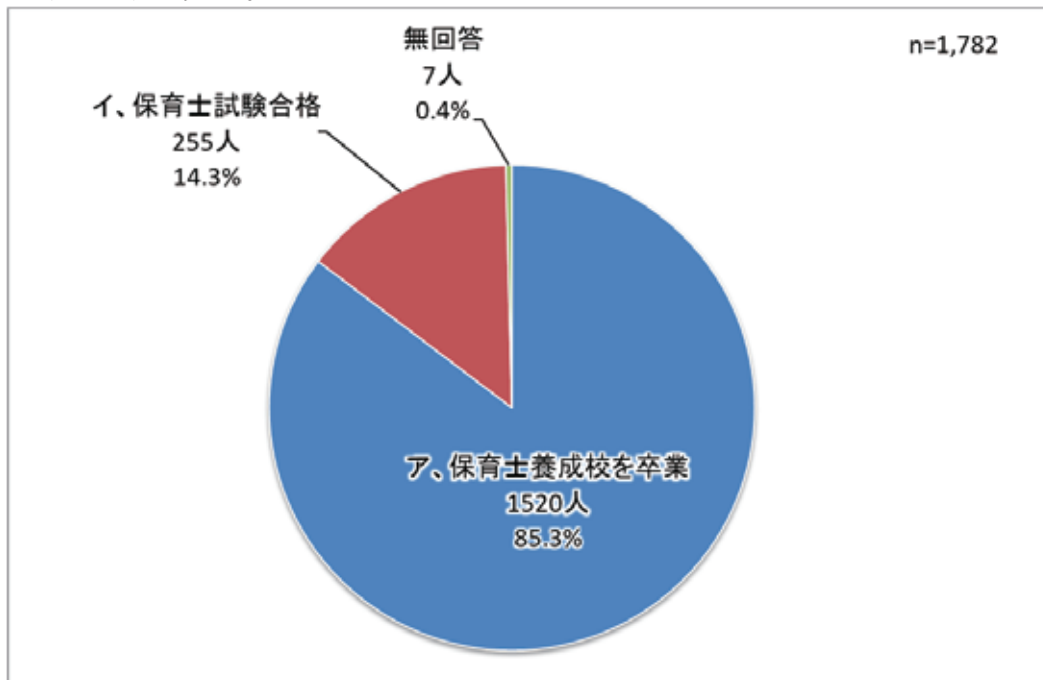
福島県外居住



## 問 1、基本属性 ○資格取得方法

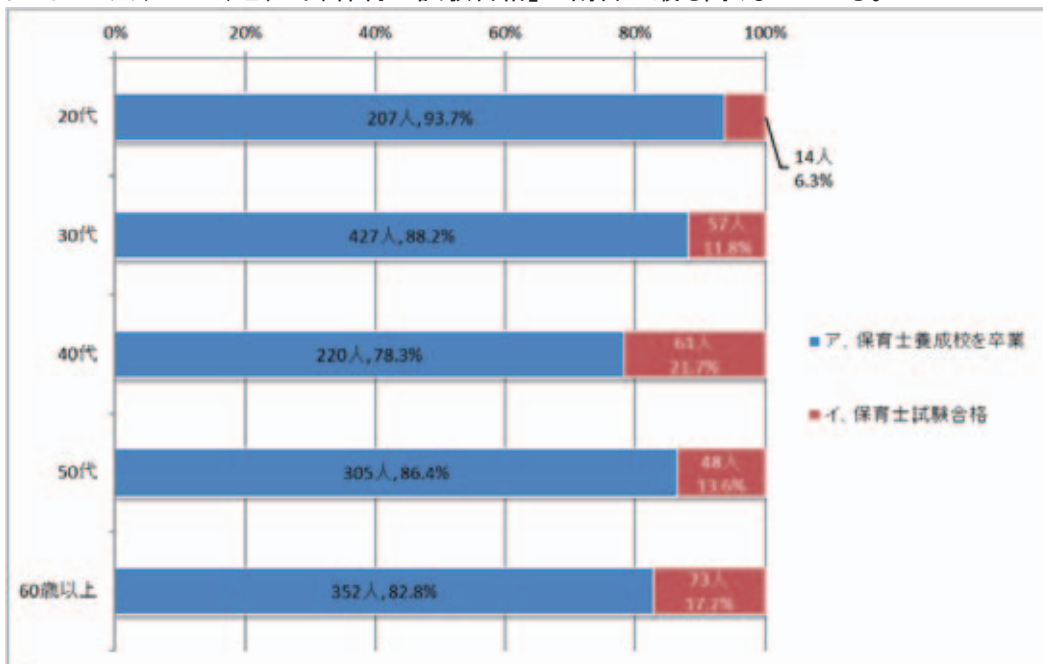
### 【全体】

資格取得方法では、「ア、保育士養成校を卒業」が 1,520 人 (85.3%) と、8 割以上を占め、「イ、保育士試験合格」が 255 人 (14.3%) であった。



### 【年齢別】

資格取得方法の年齢別クロス集計では、20代で 207 人 (93.7%) と「ア、保育士養成校を卒業」の割合が最も高く、40代では 61 人 (21.7%) と、「イ、保育士試験合格」の割合が最も高くなっている。

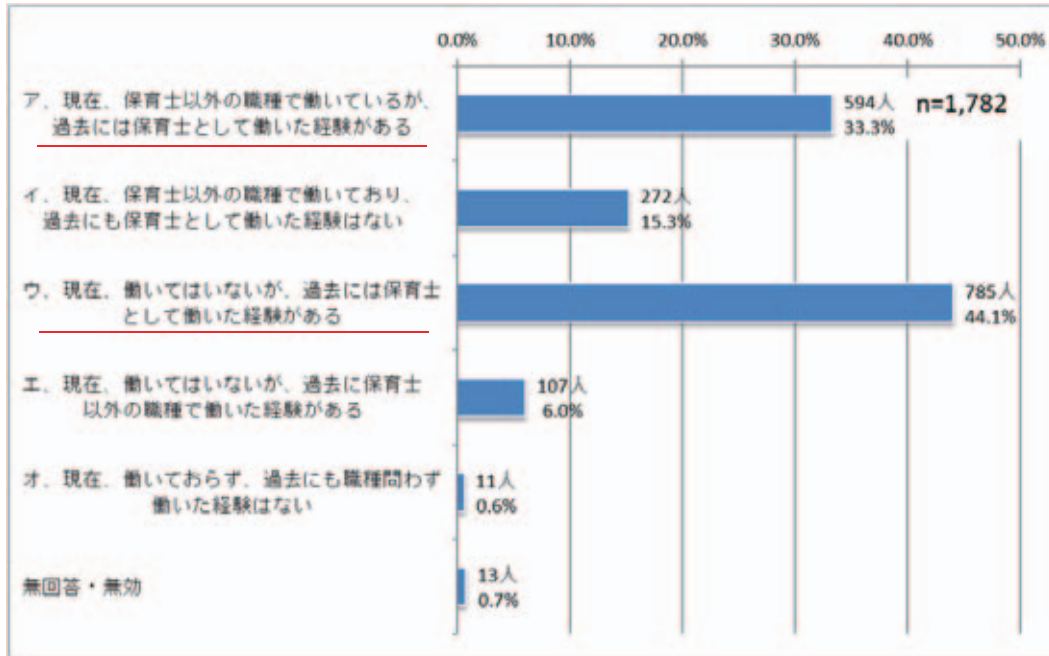




## 問 2、現在の就業状況を教えてください

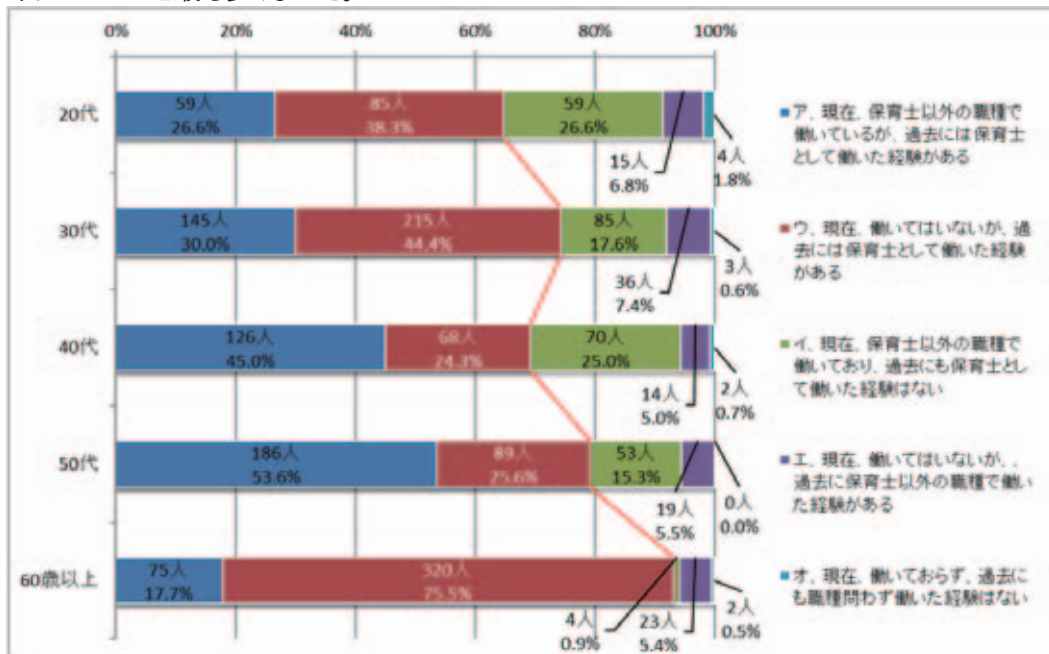
### 【全体】

現在の就業状況では、「ア」が 594 人 (33.3%)、「ウ」が 785 人 (44.1%)と、一度は保育士として働いた経験がある人は、合わせて 1,379 人 (77.4%)であった。



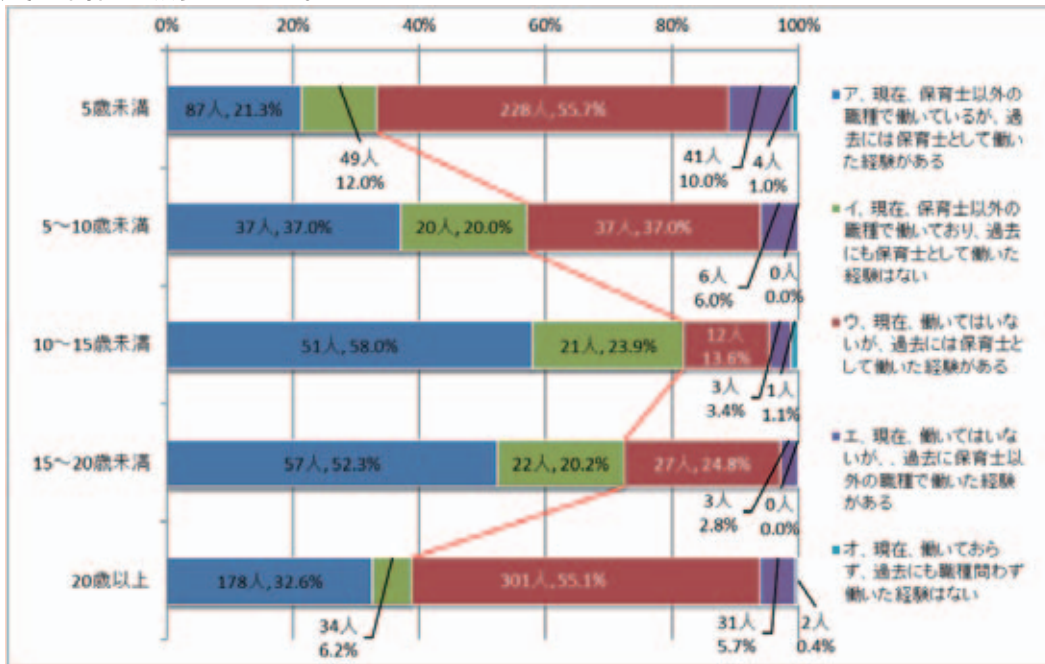
### 【年齢別】

現在の就業状況の年齢別クロス集計では、保育士として働いた経験がある人(「ア」と「ウ」の合計)がどの年代においても多く、60%を超えている。一度も保育士として働いた経験がない人(「イ」「エ」「オ」の合計)の割合は 20代が 35.2%と最も多くなった。



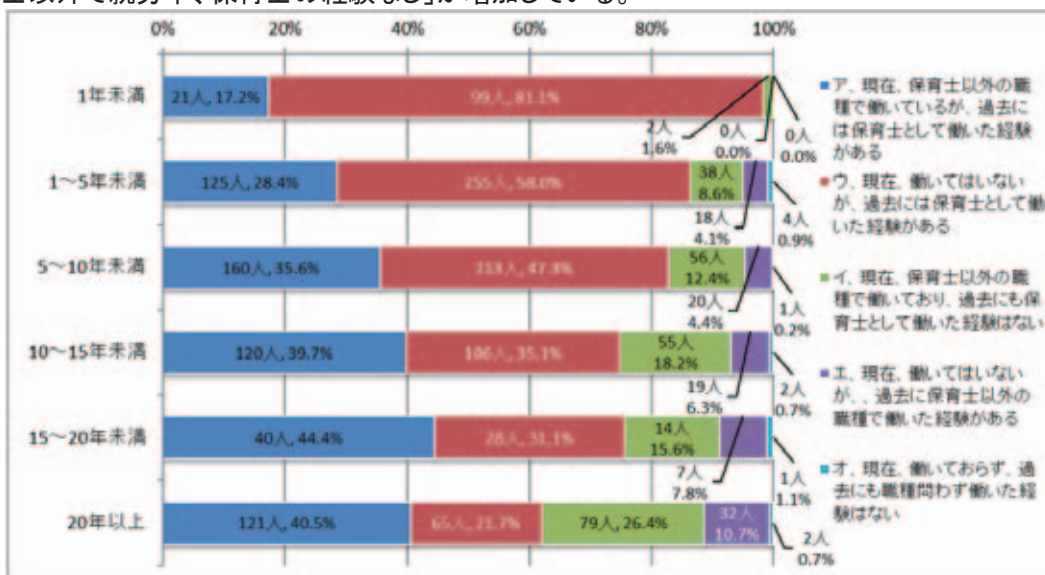
## 【末子の年齢別】

現在の就業状況の末子の年齢別クロス集計では、末子の年齢が10～15歳未満で、現在働いている人の割合(「ア」と「イ」の合計)が最も高く、72人(81.9%)となっている。また、そこを境として末子の年齢が変わるにつれて、その割合は減少している。



## 【ブランク別】

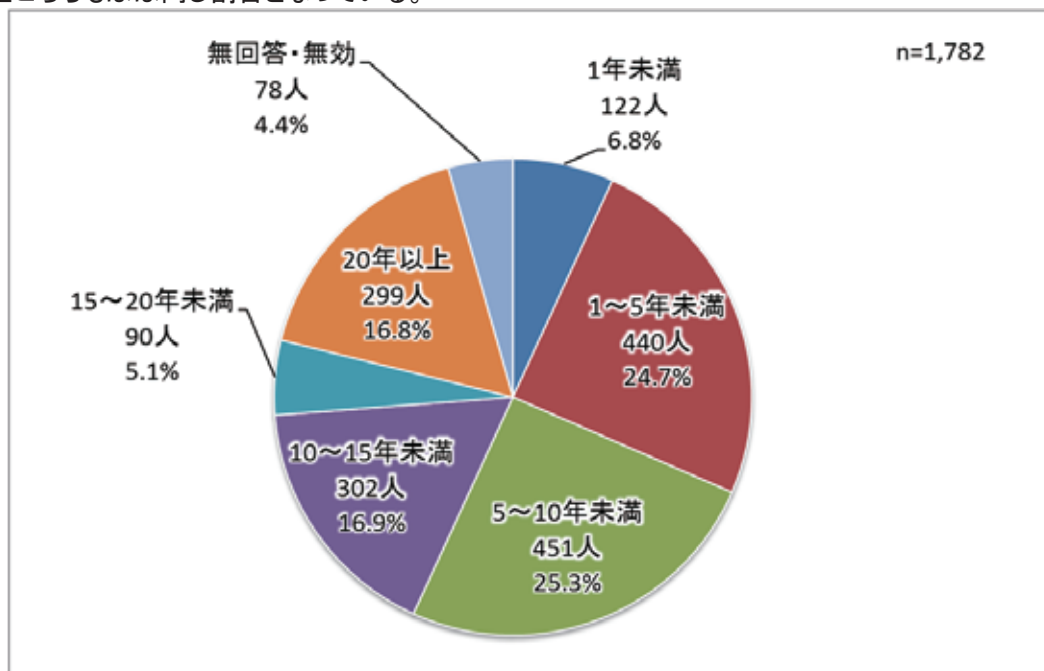
現在の就業状況のブランク別クロス集計では、ブランク1年未満では「ウ、現在働いていないが保育士の経験あり」が99人(81.1%)と最も割合が高く、ブランク年数が増えるにつれてその割合が低くなっている。それに対し、「ア、保育士以外の職種で就業中だが保育士経験あり」はブランク年数が増えるにつれて増加し、15～20年未満では、40人(44.4%)と最も割合が高くなっている。ブランク年数20年以上になると、「ア」が少し減少し、「イ、現在保育士以外で就労中、保育士の経験なし」が増加している。



### 問 3、保育士として仕事をしていない期間(いわゆるブランク)は何年ぐらいになりますか

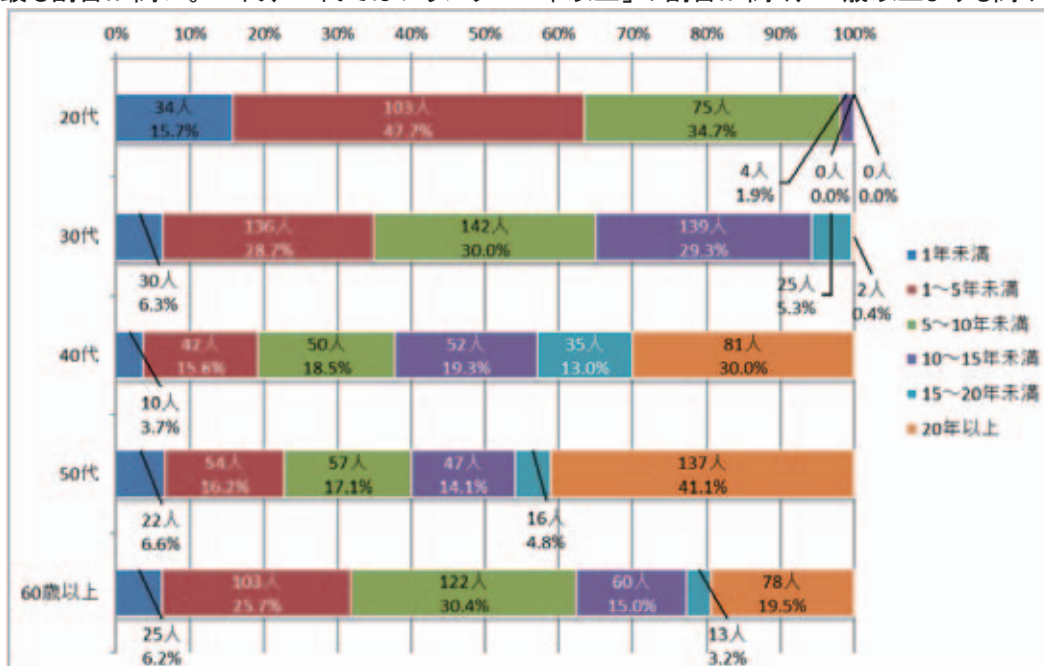
#### 【全体】

ブランクでは、「1～5年未満」が440人(24.7%)、「5～10年未満」が451人(25.3%)とほぼ同じ割合になっており、両方合わせて約半数を占めている。また、次に「10～15年未満」が302人(16.9%)、「20年以上」が299人(16.8%)とこちらもほぼ同じ割合となっている。



#### 【年齢別】

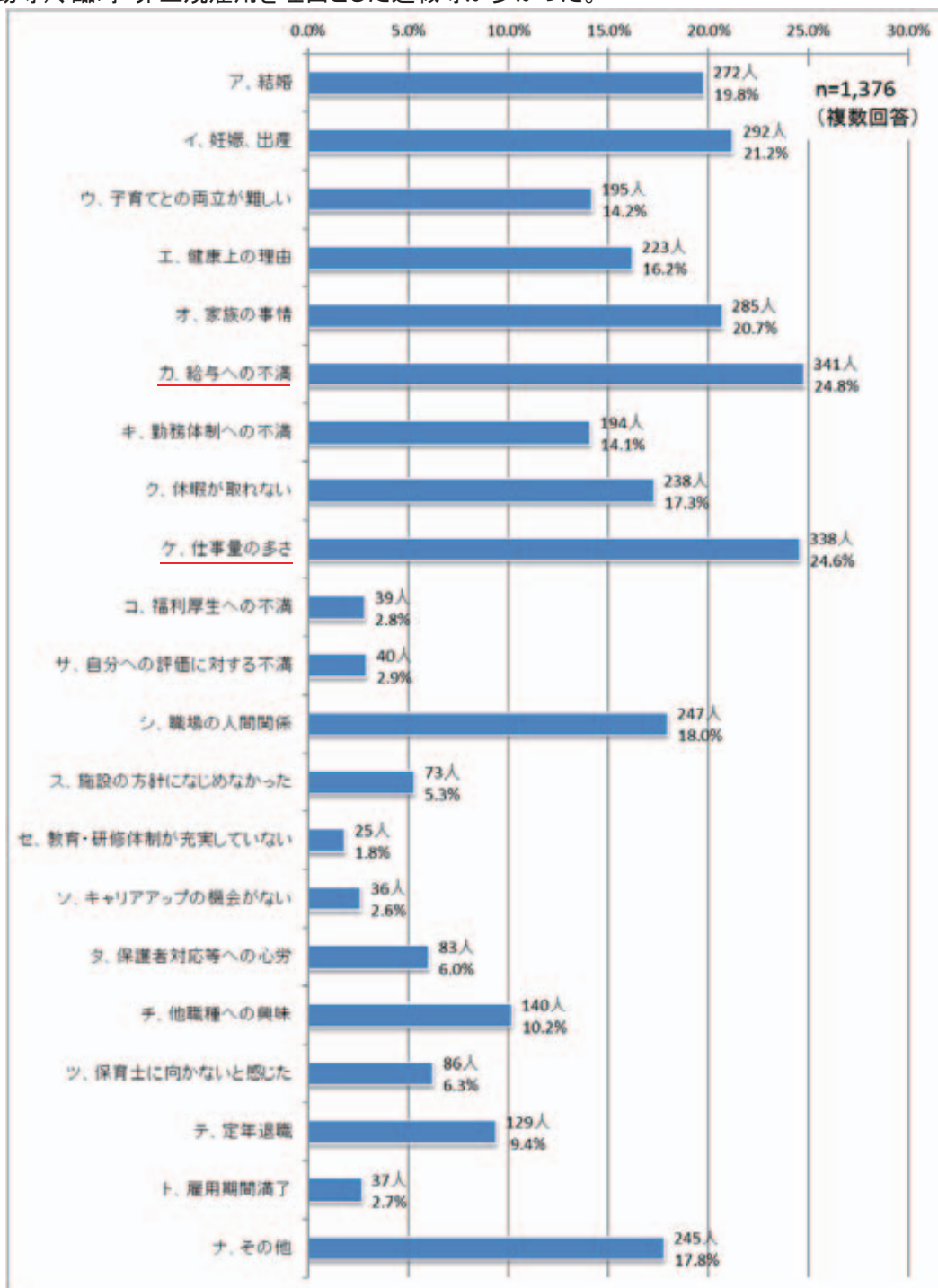
ブランクの年齢別クロス集計では、20代では「1～5年未満」が103人(47.7%)と約半数を占めており、他の年齢に比べ最も割合が高い。40代、50代ではブランク「20年以上」の割合が高く、60歳以上よりも高くなっている。



問 4、保育士としての仕事を辞めた理由としてあてはまるものは何ですか  
【問 2 でア・ウと答えた方、複数回答】

【全体】

保育士としての仕事を辞めた理由では、問2「ア・ウ」の回答者 1,376 人(無回答除く)中 341 人(24.8%)が「カ、給与への不満」と回答し最も多くなっており、次いで「ケ、仕事量の多さ」が 338 人(24.6%)とほぼ同数を占めている。「ナ、その他」の内訳としては、高齢等による退職(定年かどうかは不明)、職場の異動、震災の影響(避難、閉鎖、異動等)、臨時・非正規雇用を理由とした退職等が多かった。

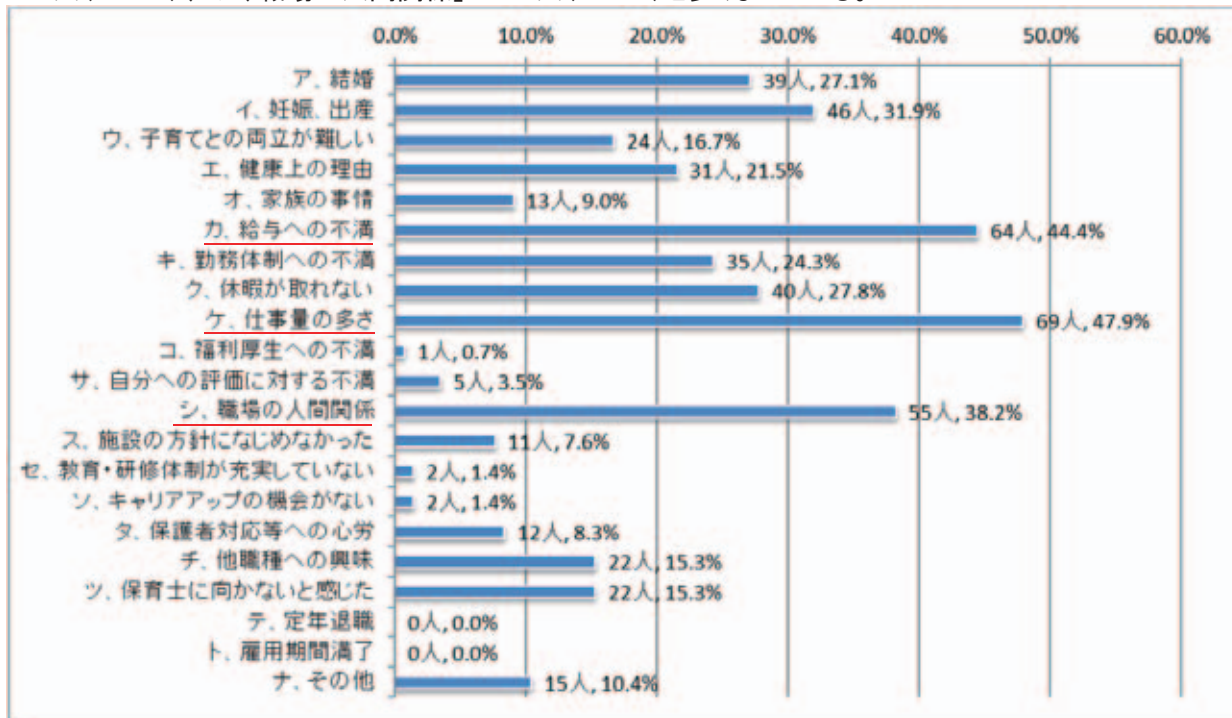


## 【年齢別】

保育士としての仕事を辞めた理由の年齢別クロス集計では、問2でア・ウ回答者1,365人(無回答除く)に対し、年齢別に下記の通りとなっている。

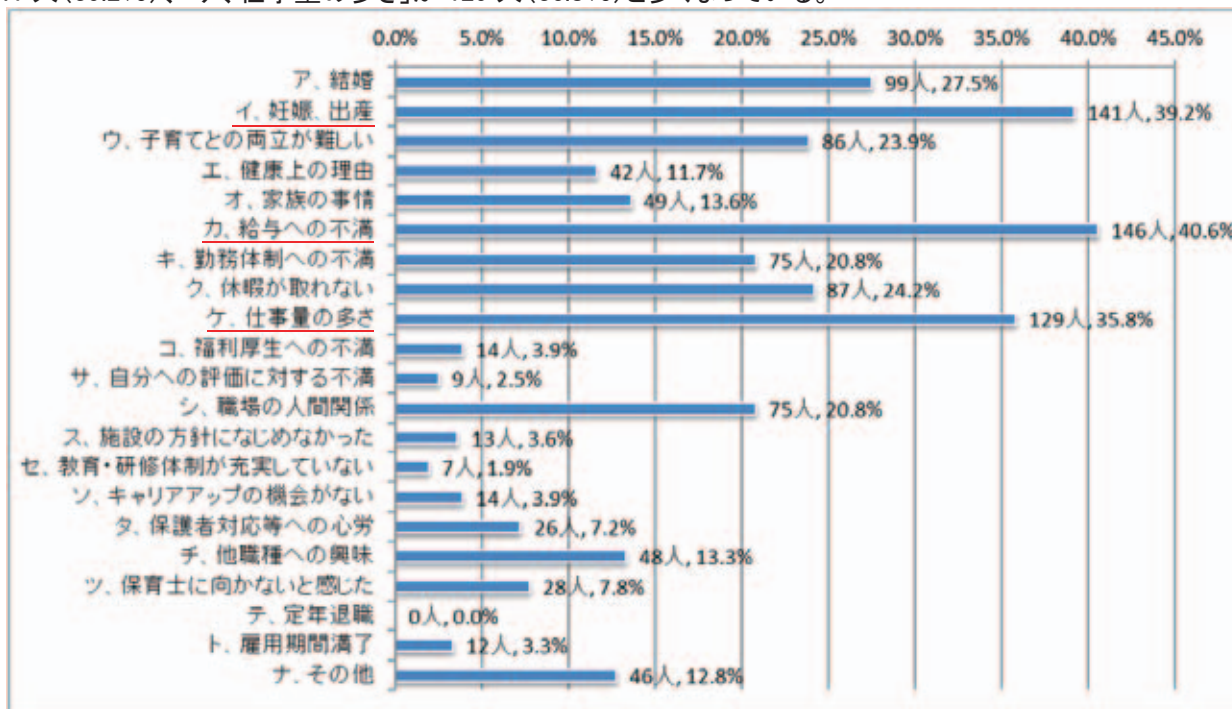
### <20代>

問2でア・ウ回答者144人中、「ケ、仕事量の多さ」が69人(47.9%)で最も多く、次いで「カ、給与への不満」が64人(44.4%)、「シ、職場の人間関係」が55人(38.2%)と多くなっている。



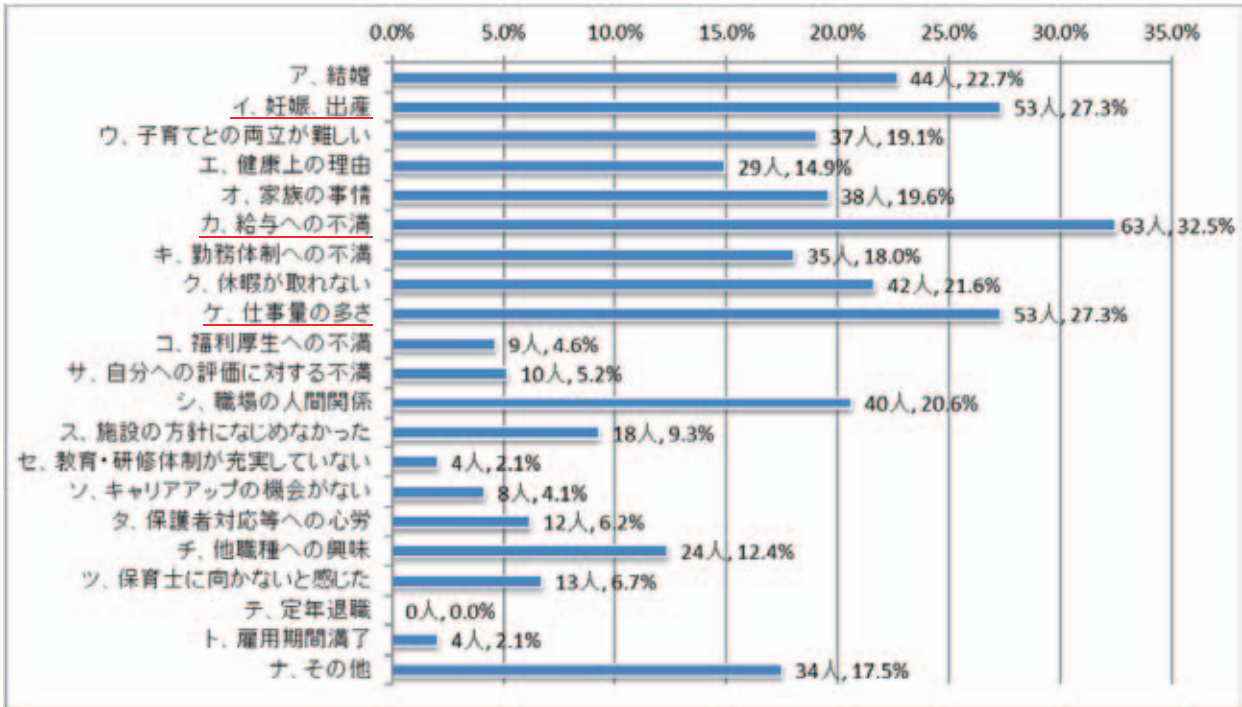
### <30代>

問2でア・ウ回答者360人中、「カ、給与への不満」が146人(40.6%)で最も多く、次いで「イ、妊娠、出産」が141人(39.2%)、「ケ、仕事量の多さ」が129人(35.8%)と多くなっている。



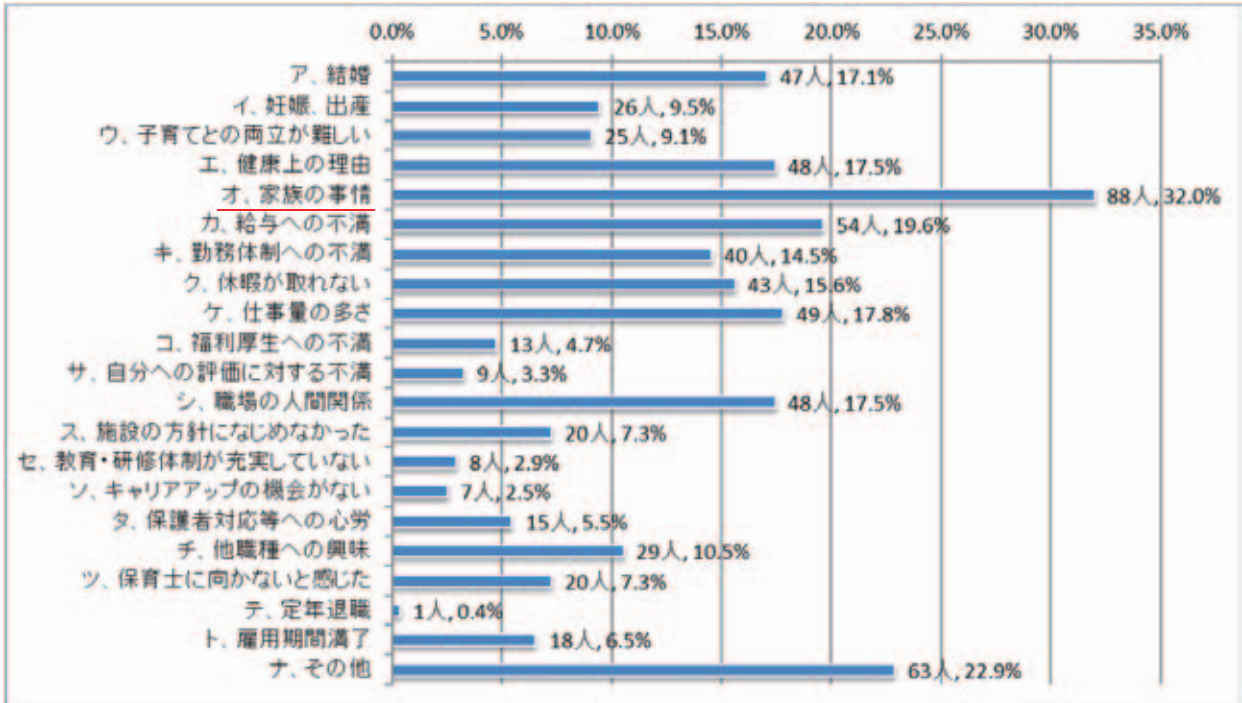
<40代>

問2でア・ウ回答者194人中、「カ、給与への不満」が63人(32.5%)で最も多く、次いで「イ、妊娠、出産」と「ケ、仕事量の多さ」が53人(27.3%)と同数で続いている。



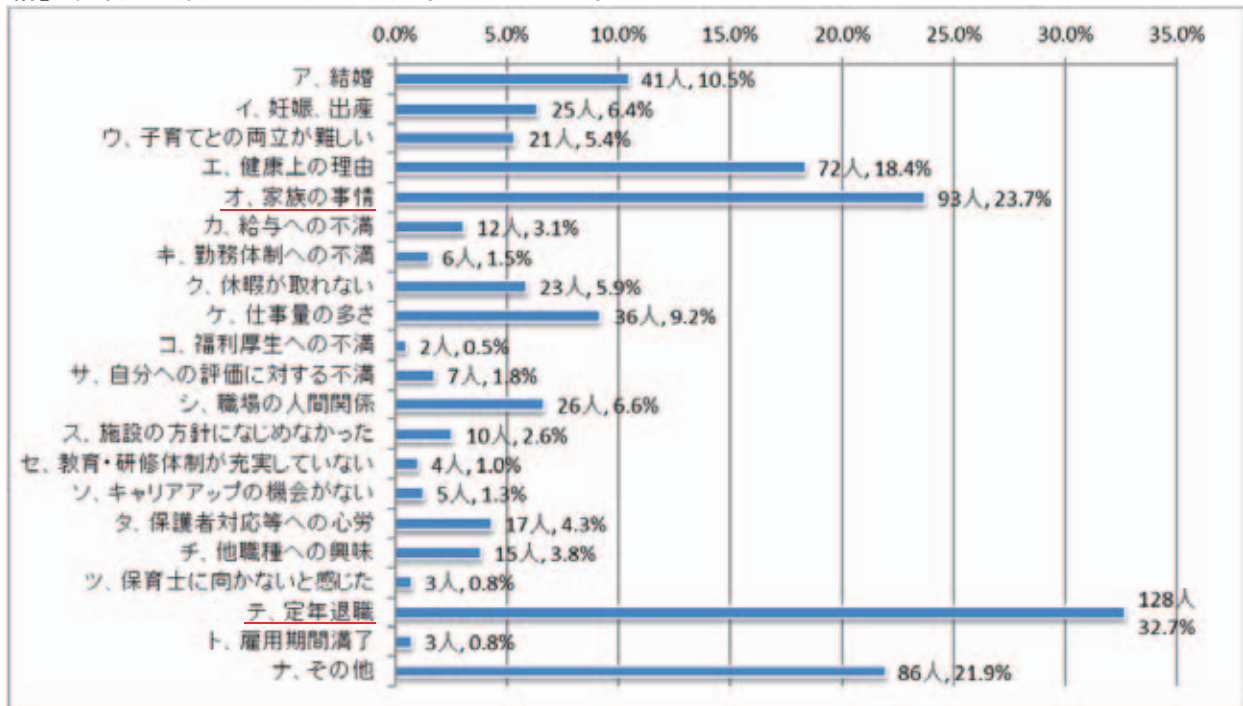
<50代>

問2でア・ウ回答者275人中、「オ、家族の事情」と回答した数が88人(32.0%)と他の項目に比べ特に多くなっている。



<60 歳以上>

問2でア・ウ回答者392人中、「テ、定年退職」と回答した数が128人(32.7%)と最も多い。次いで「オ、家族の事情」と回答した数が93人(23.7%)と多くなっている。

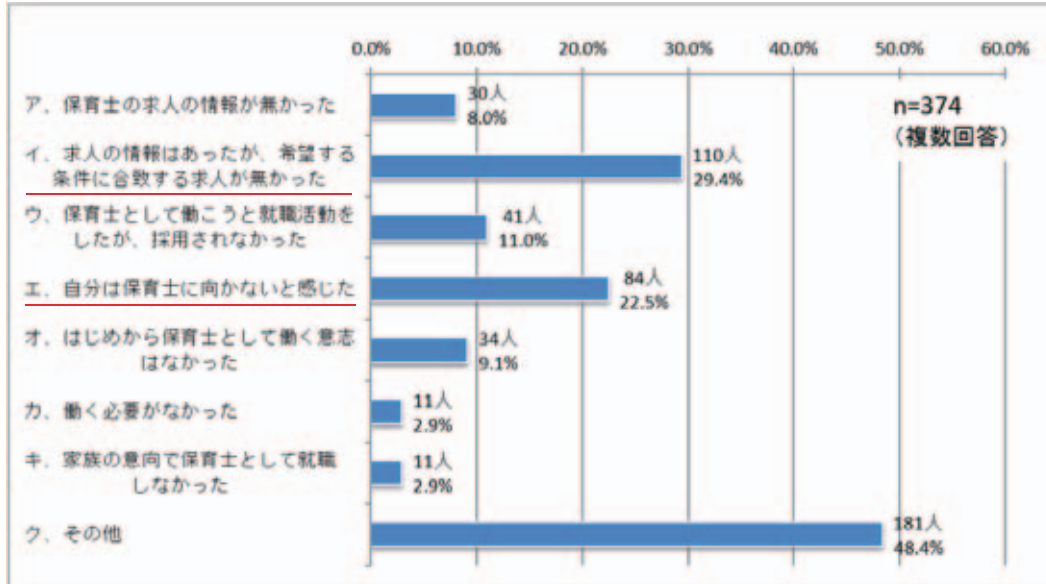


## 問 5、これまでに保育士として働かなかった理由は何ですか

【問 2 でイ・エ・オと答えた方、複数回答】

### 【全体】

これまでに保育士として働かなかった理由では、「ク、その他」を除くと、「イ、求人情報はあったが、希望する条件に合致する求人が無かった」が最も多く、110 人(29.4%)となっており、次に「エ、自分は保育士に向かないと感じた」が 84 人(22.5%)となっている。「ク」の内訳としては、「幼稚園教諭として働いた」、「介護職に就いた」等の回答が多く見られた。

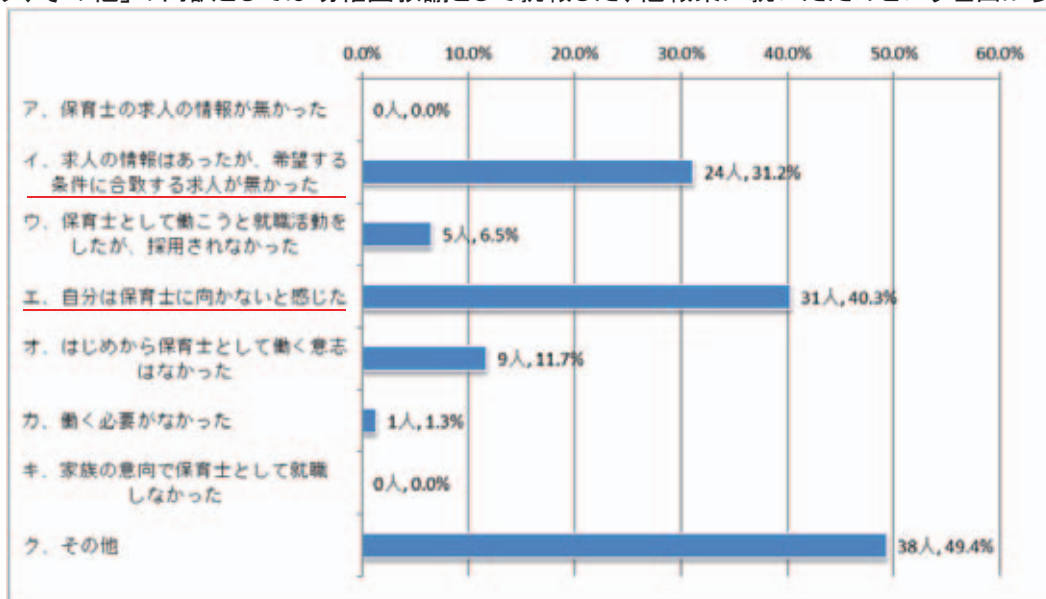


### 【年齢別】

これまでに保育士として働かなかった理由の年齢別クロス集計では、問 2 でイ・エ・オ回答者 373 人(無回答除く)に対し、年齢別に下記の通りとなっている。

#### <20 代>

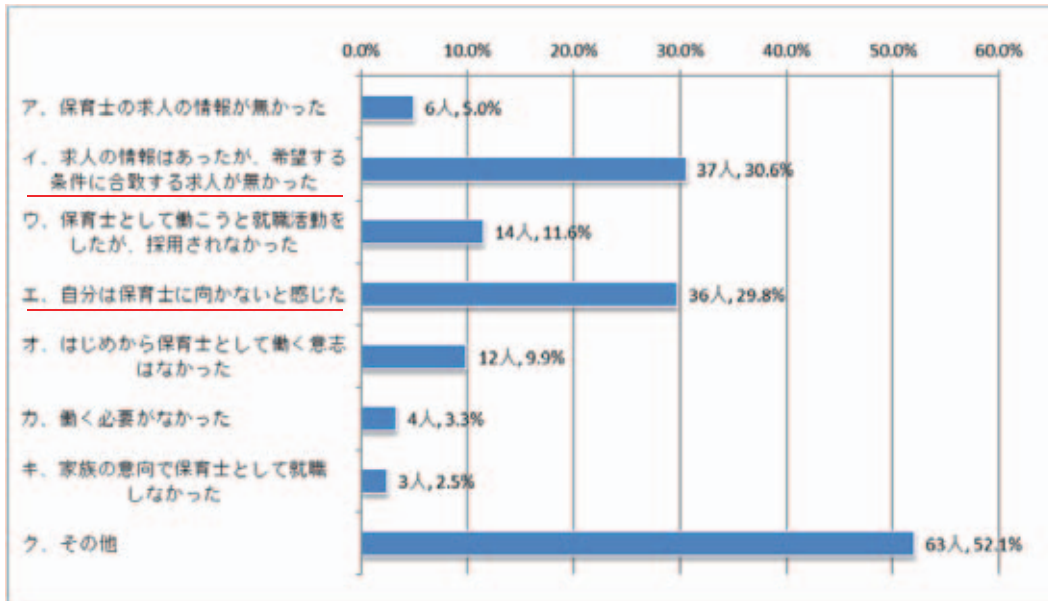
問 2 でイ・エ・オ回答者 77 人中、「ク、その他」を除くと「エ、保育士に向かないと感じた」が 31 人(40.3%)で最も多く、次いで「イ、求人情報はあったが、希望する条件に合致する求人が無かった」が 24 人(31.2%)と多くなっている。「ク、その他」の内訳としては幼稚園教諭として就職した、他職業に就いたためという理由が多かった。





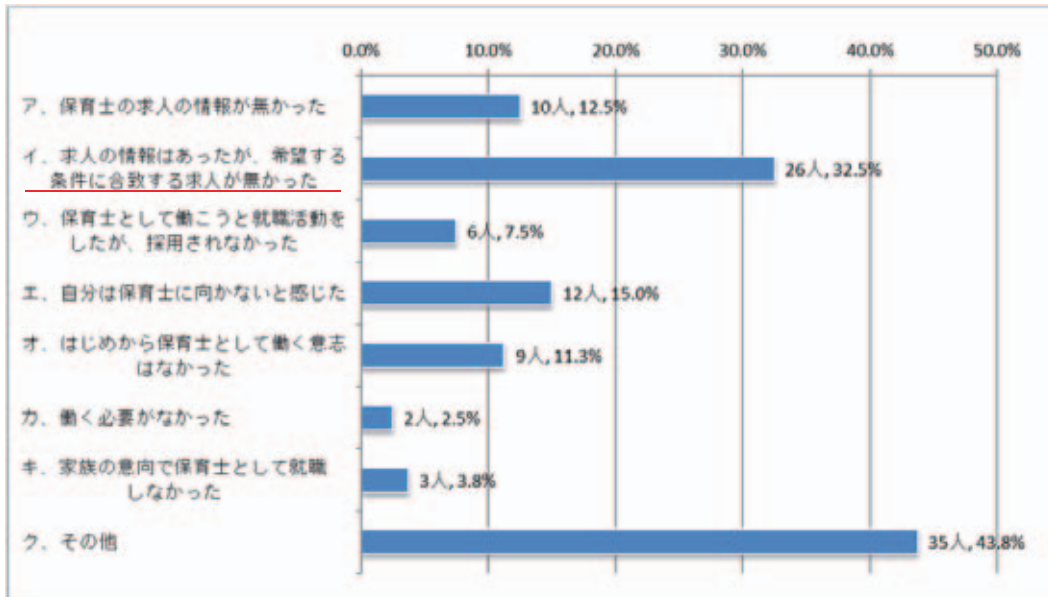
<30代>

問2でイ・エ・オ回答者121人中、「ク、その他」を除くと「イ、求人情報はあったが、希望する条件に合致する求人が無かった」が37人(30.6%)、「エ、保育士に向かないと感じた」が36人(29.8%)とほぼ同数で多くなっている。「ク、その他」の内訳としては幼稚園教諭や他職業に就いたためという理由が多く、給与等経済面での理由も見られた。



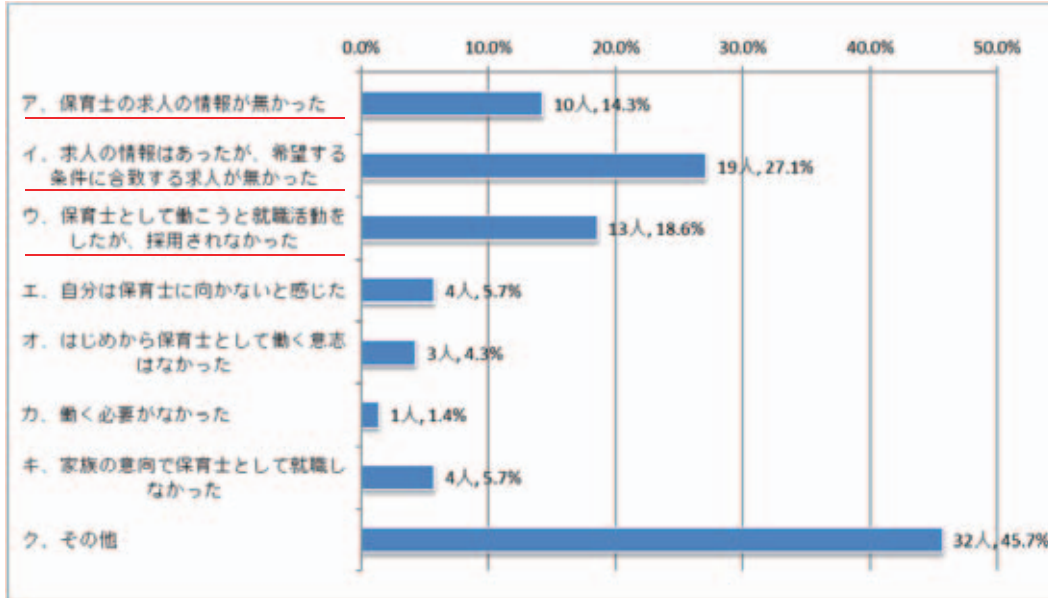
<40代>

問2でイ・エ・オ回答者80人中、「ク、その他」を除くと「イ、求人情報はあったが、希望する条件に合致する求人が無かった」が26人(32.5%)と最も多くなっている。「ク、その他」の内訳としては幼稚園教諭として働いたという理由の他に、他職業に就いた、興味を持ったという理由が多く見られた。



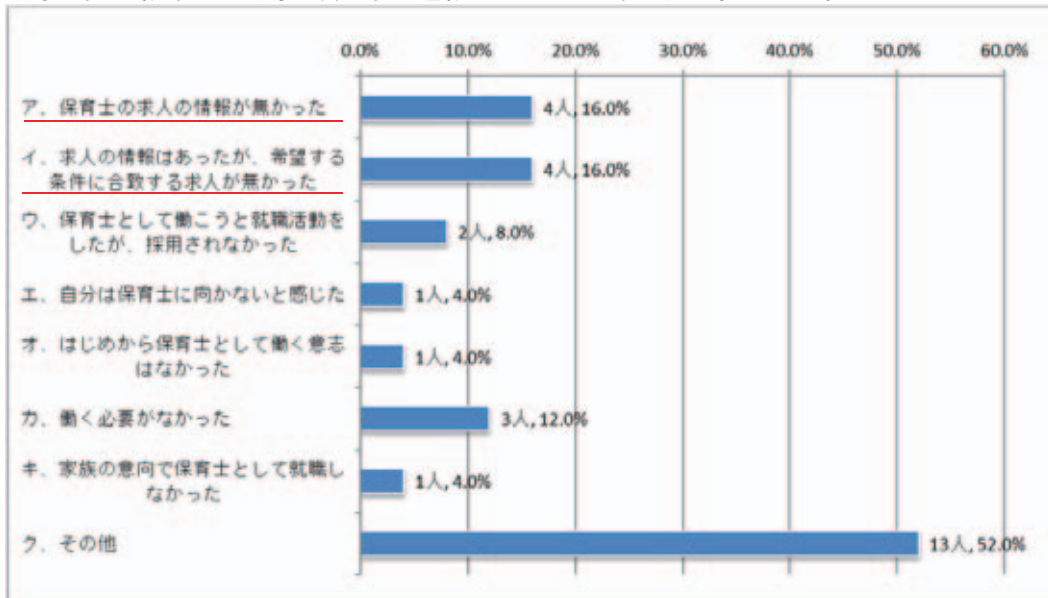
<50代>

問2でイ・エ・オ回答者70人中、「ク、その他」を除くと「イ、求人情報はあったが、希望する条件に合致する求人が無かった」が19人(27.1%)と最も多く、次に「ウ、保育士として働こうと就職活動をしたが採用されなかった」が13人(18.6%)、「ア、保育士の求人情報が無かった」が10人(14.3%)となっている。「ク、その他」の内訳としては幼稚園教諭として働いたという理由もあったが、若年層に比べ幼稚園以外の職業に就いたという割合が多く見られた。



<60歳以上>

問2でイ・エ・オ回答者25人中、「ク、その他」を除くと「ア、保育士の求人情報が無かった」と「イ、求人情報はあったが、希望する条件に合致する求人が無かった」が4人(16.0%)であった。「ク、その他」の内訳としては幼稚園教諭やその他の職業として勤め、定年で退職したためという理由が見られた。

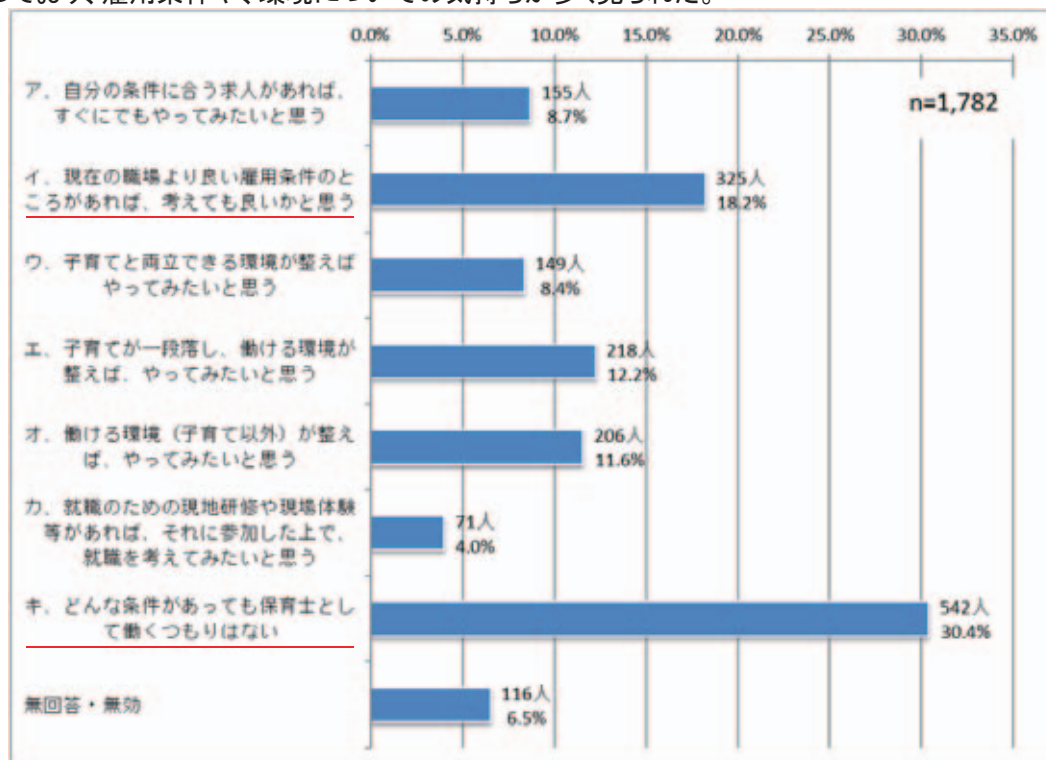


## 問 6、保育士として仕事をするについてのあなたのお気持ちについてお聞かせください

### 【全体】

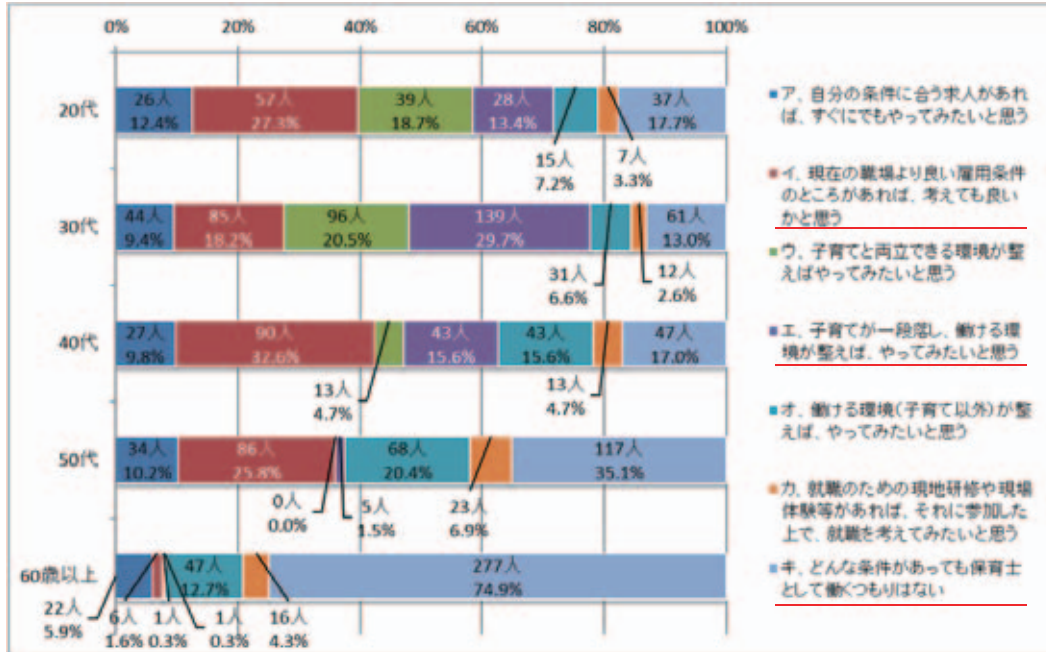
保育士として仕事をするについての気持ちでは、「キ、どんな条件があっても保育士として働くつもりはない」が最も多く 542 人(30.4%)となっている。内訳としては、年齢的・体力的な不安や、現在の職場の条件・環境に満足している、また家族の介護や孫の世話など家庭の事情についての理由が多かった。

「キ」以外では、「イ、現在の職場より良い雇用条件のところがあれば、考えても良い」が 325 人(18.2%)で最も多くなっている。また、「カ、就職のための現地研修や現場体験等があれば考えてみたい」は最低の 71 人(4.0%)にとどまっており、雇用条件や、環境についての気持ちが多く見られた。



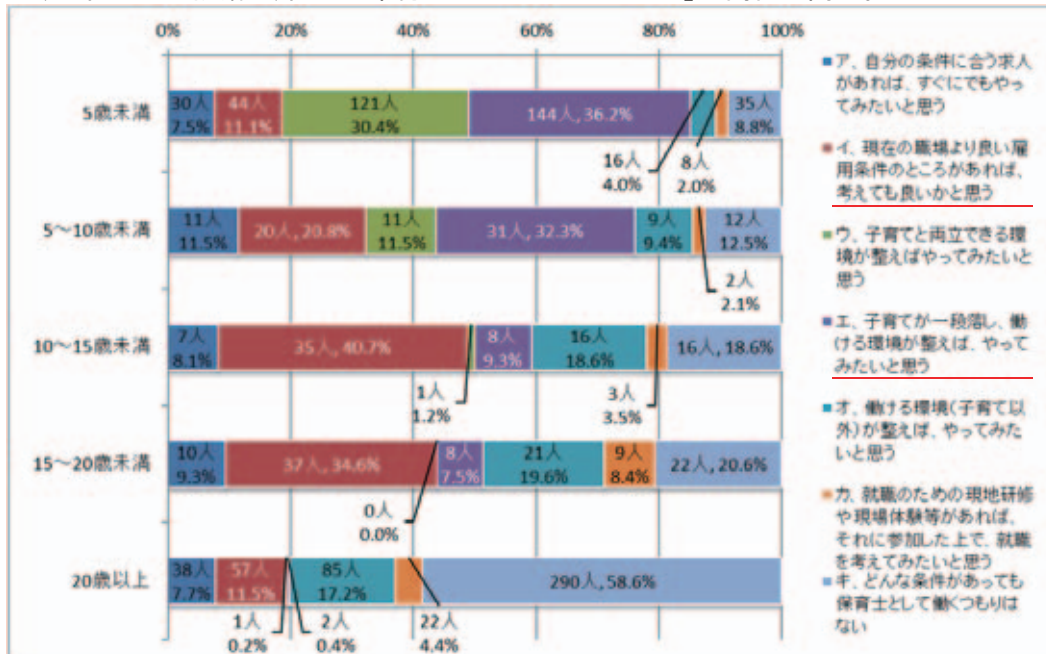
## 【年齢別】

保育士として仕事をするについての気持ちの年齢別クロス集計では、20代、40代、50代で「イ、現在の職場より良い雇用条件のところがあれば、考えても良い」の割合が高く、30代では、「エ、子育てが一段落し、働ける環境が整えばやってみたい」の割合が高くなっている。また、60歳以上では「キ、どんな条件があっても保育士として働くつもりはない」の割合が高くなっている。



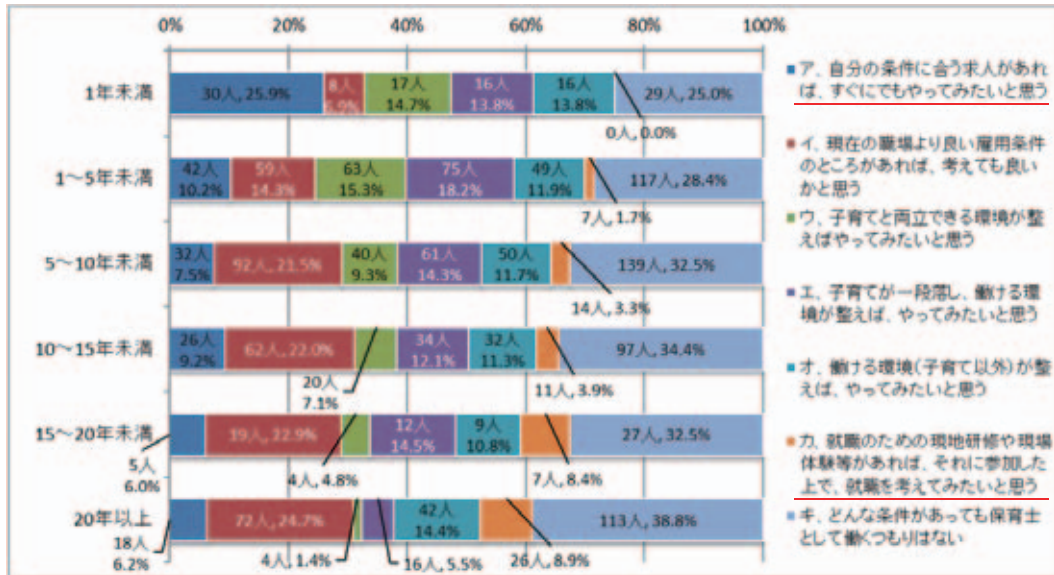
## 【末子の年齢別】

保育士として仕事をするについての気持ちの末子の年齢別クロス集計では、10～15歳未満、15～20歳未満では「イ、現在の職場より良い雇用条件のところがあれば、考えても良い」の割合が高く、5歳未満、5～10歳未満では「エ、子育てが一段落し、働ける環境が整えばやってみたい」の割合が高い。



## 【ブランク別】

保育士として仕事をするについての気持ちのブランク別クロス集計では、ブランク 1 年未満では「ア、条件に合う求人があれば、すぐにでもやってみたい」が 30 人(25.9%)と多くなっているが、ブランクが長くなるにつれて少なくなっている。逆に、「カ、研修や現場体験等があれば、それに参加した上で就職を考えてみたい」についてはブランク 1 年未満では見られないが、ブランクが長くなるにつれて増加している。

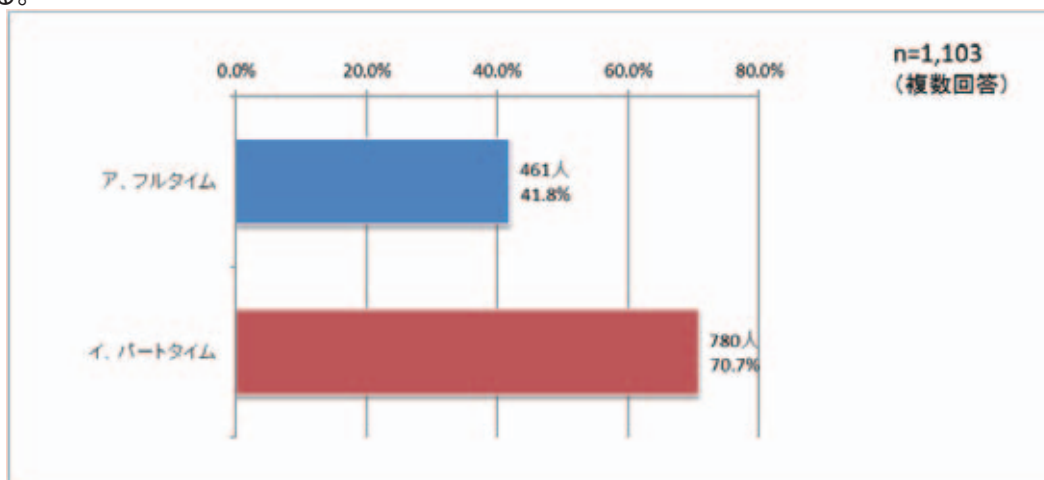


## 問 7、あなたが今後保育士として働く場合に求める条件をお聞かせください

### ①雇用形態【複数回答】

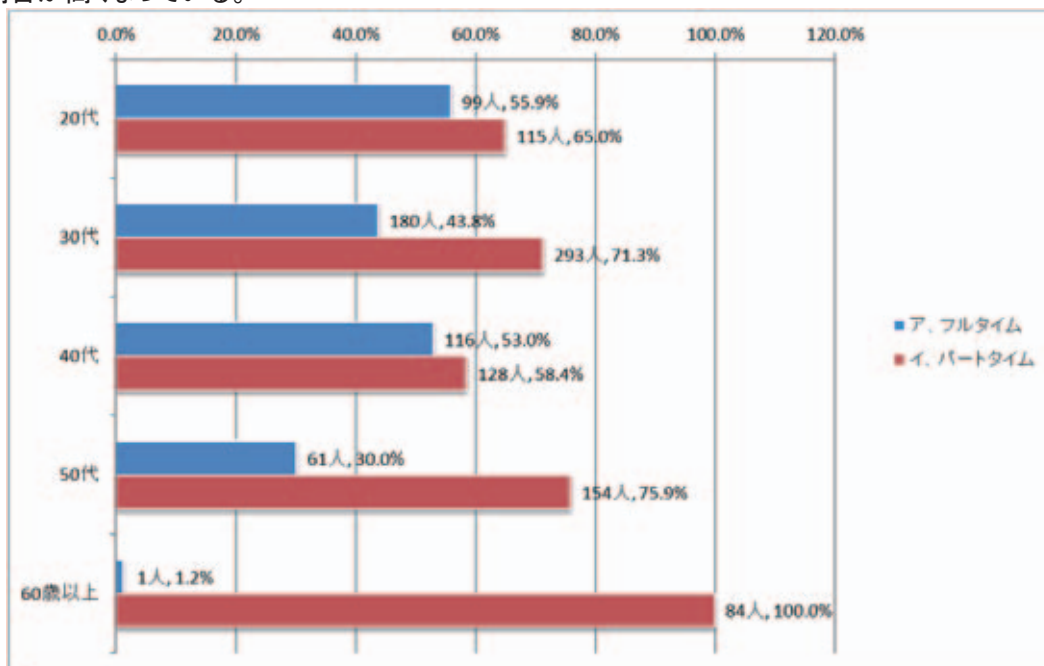
#### 【全体】

保育士として働く場合に求める条件では、回答者 1,103 人(無回答除く)中 780 人(70.7%)が「イ、パートタイム」と回答したのに対し、「ア、フルタイム」との回答者は 461 人(41.8%)となっており、パートタイムがフルタイムを上回っている。



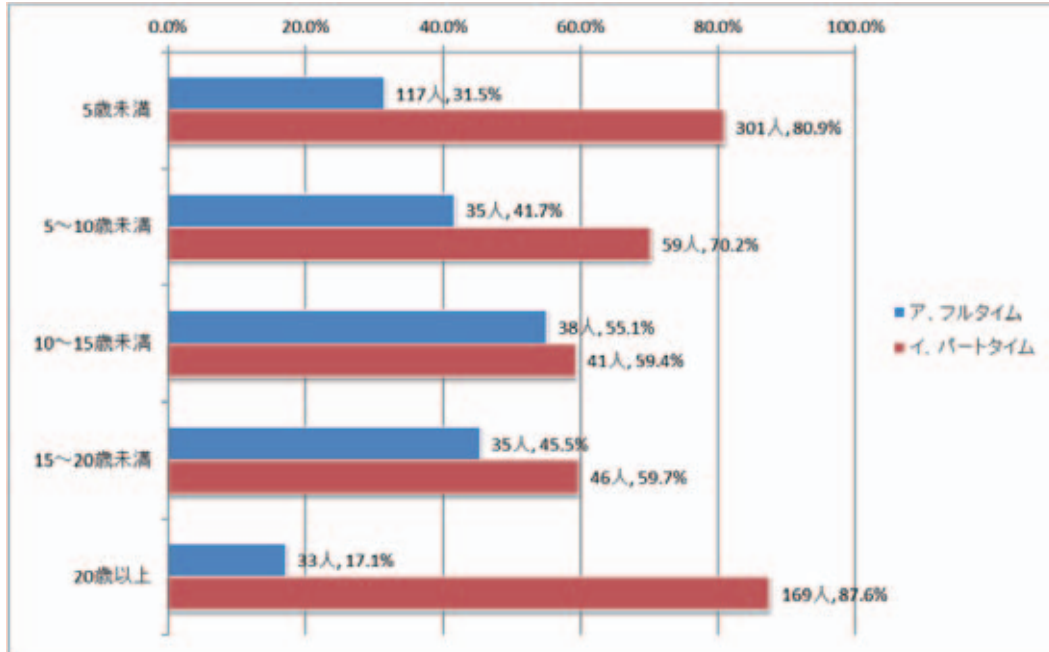
#### 【年齢別】

保育士として働く場合に求める条件の年齢別クロス集計では、「イ、パートタイム」の割合が高いが、20代で回答者 177 人(無回答除く)中 99 人(55.9%)、40代で 219 人(無回答除く)中 116 人(53.0%)と比較的「ア、フルタイム」の割合が高くなっている。



## 【末子の年齢別】

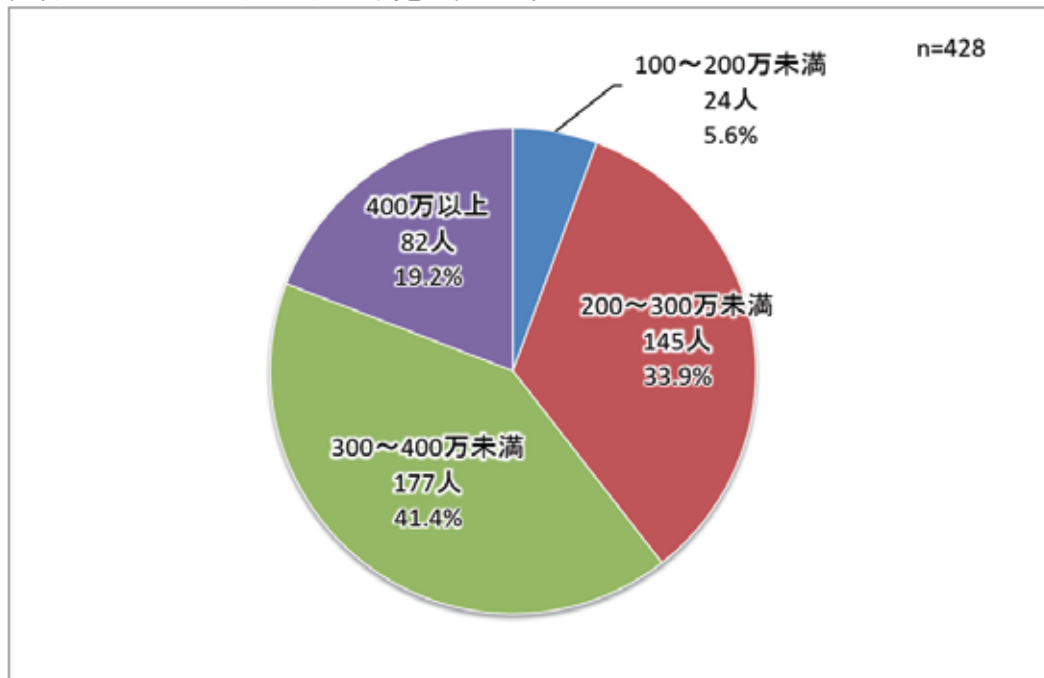
保育士として働く場合に求める条件の末子の年齢別クロス集計では、全体的に「イ、パートタイム」の割合が高いが、10～15歳未満では「ア、フルタイム」の割合が回答者69人(無回答除く)中38人(55.1%)と最も高く「イ、パートタイム」とほぼ同じ割合となっている。末子の年齢が10～15歳未満を境に「ア」の割合が減少していき、「イ」の割合が増加している



①雇用形態 ア、フルタイム 年収

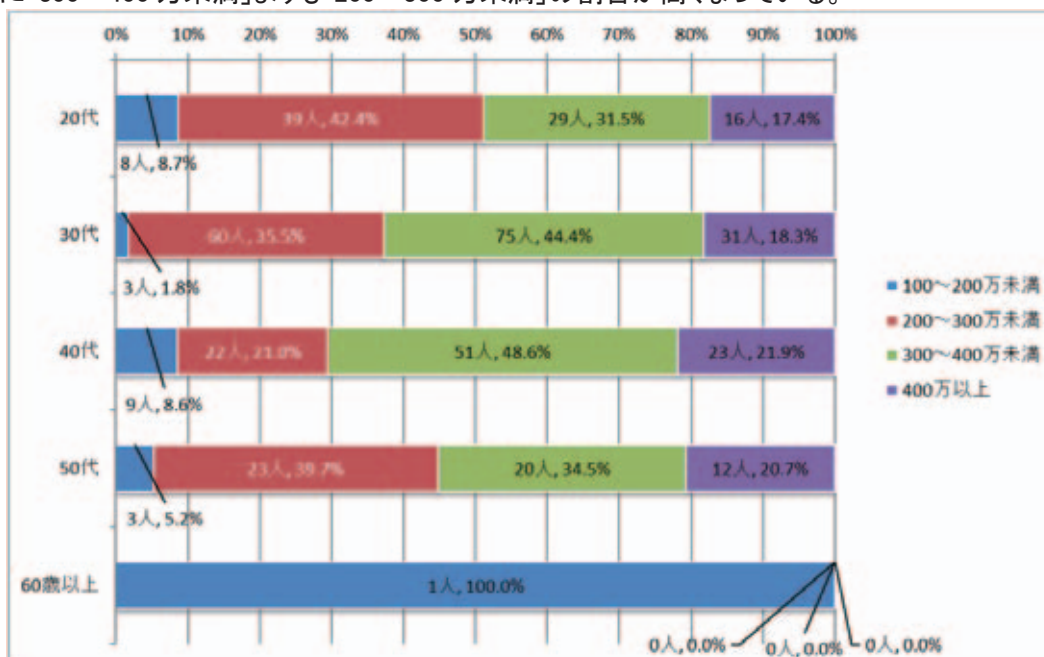
【全体】

雇用形態でフルタイムと回答した場合の年収では、「300～400万未満」が177人(41.4%)と最も多く、約4割を占めている。次いで「200～300万未満」が145人(33.9%)、「400万以上」が82人(19.2%)と続き、「100～200万未満」と回答したのは24人(5.6%)と1割を下回った。



【年齢別】

雇用形態でフルタイムと回答した場合の年収の年齢別クロス集計では、60代を除き、40代で「300～400万未満」の割合が最も高く、「200～300万未満」が最も低くなっている。また、「400万以上」の割合も他年代に比べて高い。30代も「300～400万未満」の割合が高いが、「100～200万未満」の割合が最も低くなっている。20代と50代では逆に「300～400万未満」よりも「200～300万未満」の割合が高くなっている。

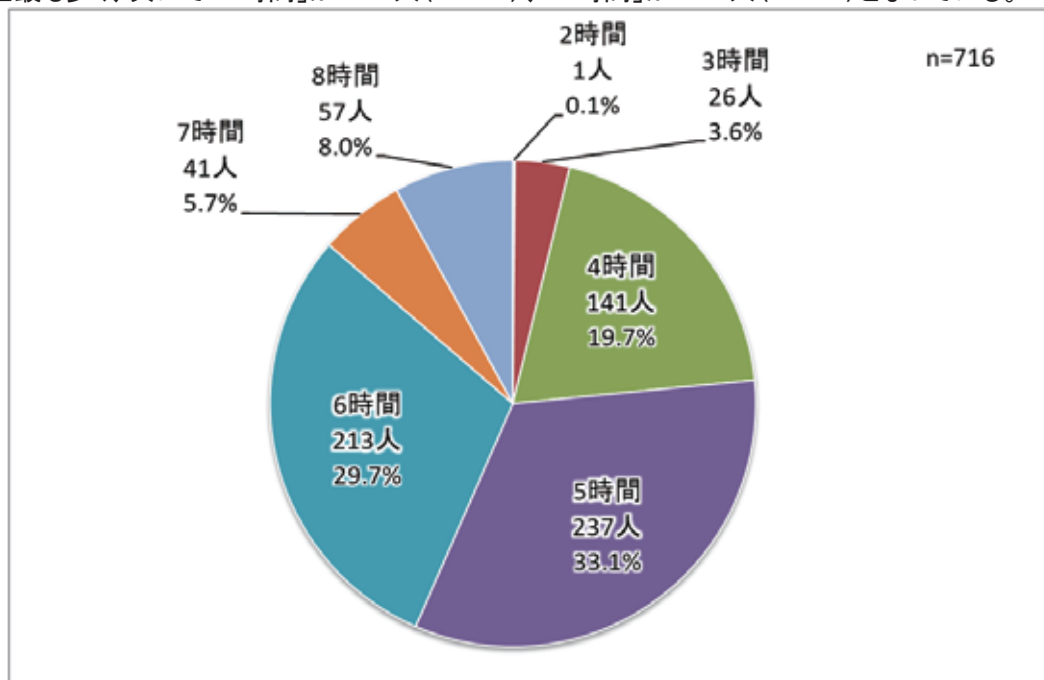




①雇用形態 イ、パートタイム 1日当たりの勤務時間

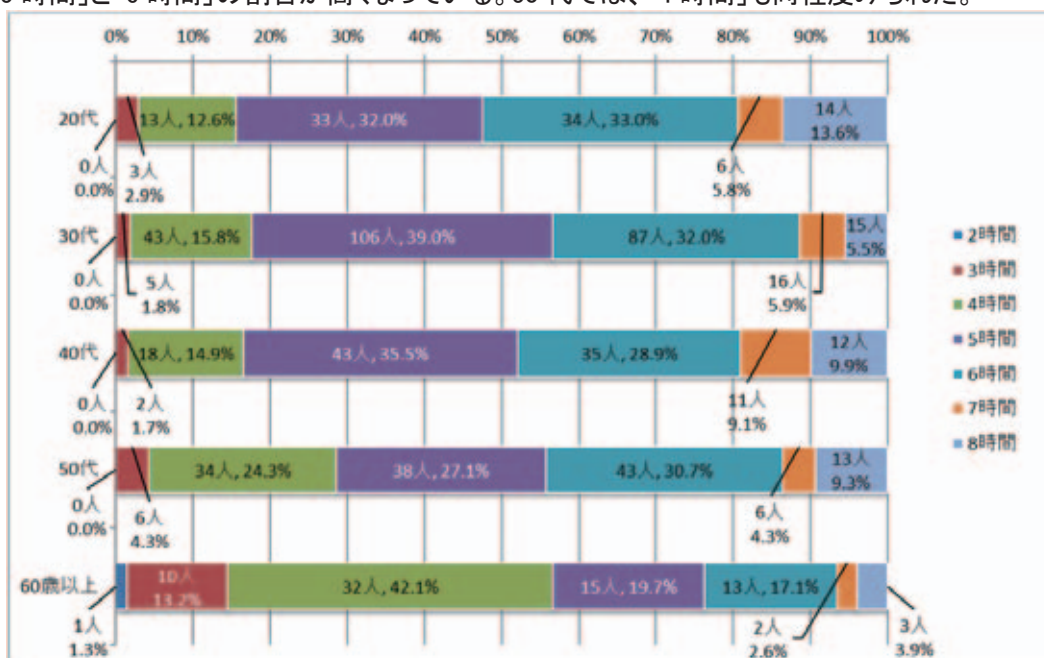
【全体】

雇用形態でパートタイムと回答した場合の1日当たりの勤務時間では、「5時間」と回答したのが237人(33.1%)と最も多く、次いで「6時間」が213人(29.7%)、「4時間」が141人(19.7%)となっている。



【年齢別】

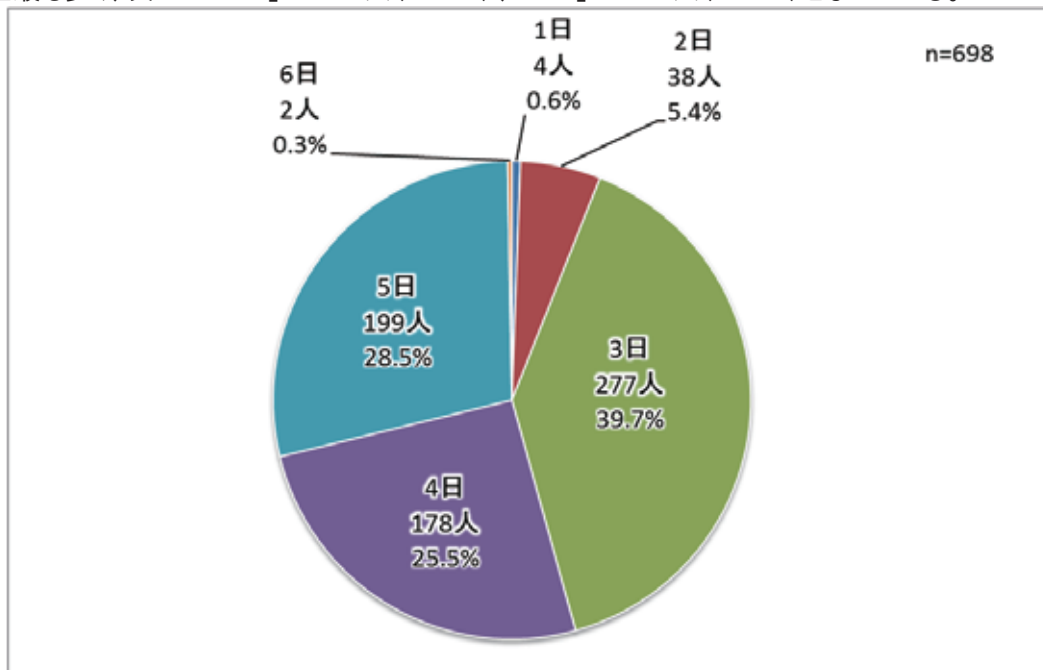
雇用形態でパートタイムと回答した場合の1日当たりの勤務時間の年齢別クロス集計では、20代から40代までは、「5時間」と「6時間」の割合が高くなっている。50代では、「4時間」も同程度みられた。



①雇用形態 イ、パートタイム 1週間当たりの勤務日数

【全体】

雇用形態でパートタイムと回答した場合の1週間当たりの勤務日数では、「3日」と回答したのが277人(39.7%)と最も多く、次いで「5日」が199人(28.5%)、「4日」が178人(25.5%)となっている。



【年齢別】

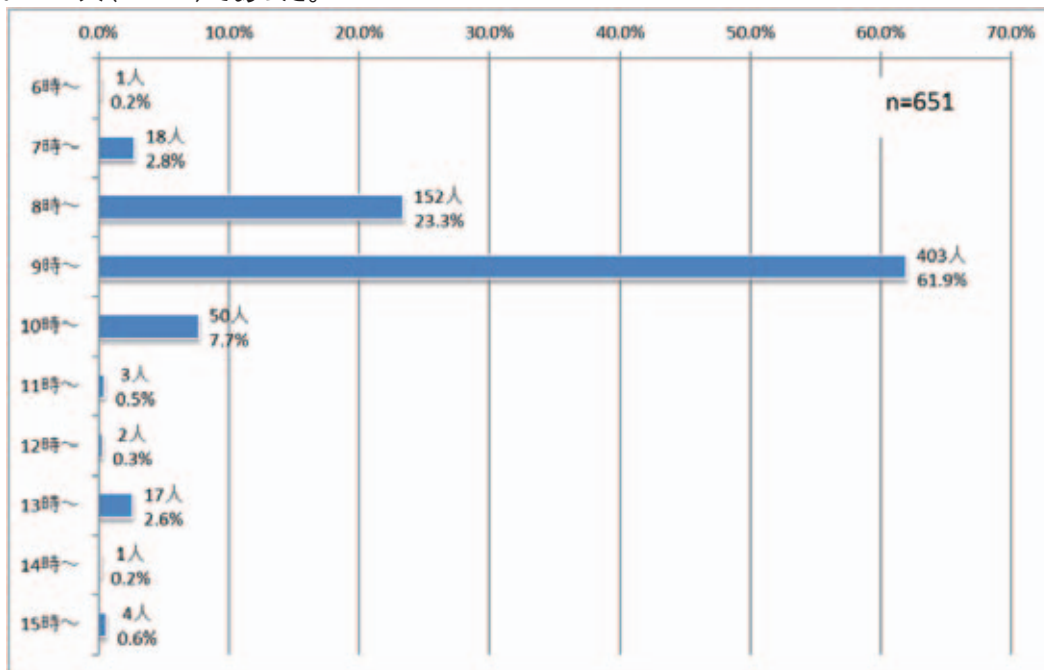
雇用形態でパートタイムと回答した場合の1週間当たりの勤務日数の年齢別クロス集計では、「3日」と回答したのが各年齢とも4割前後で最も割合が高くなっている。60歳以上を除くと「5日」が3割前後と次に高い割合となっており、「4日」は各年代3割弱であるが、50代が2割弱と低くなっている。



①雇用形態 イ、パートタイム 勤務開始時間

【全体】

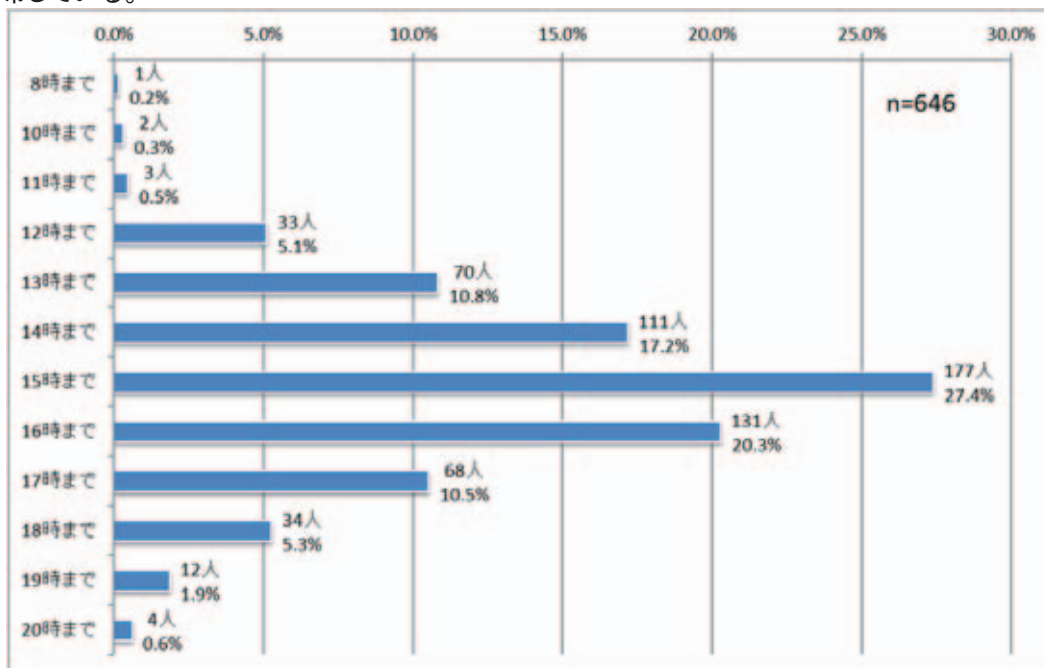
雇用形態でパートタイムと回答した場合の勤務開始時間では、「9時～」が403人(61.9%)と最も多く、次いで「8時～」が152人(23.3%)であった。



①雇用形態 イ、パートタイム 勤務終了時間

【全体】

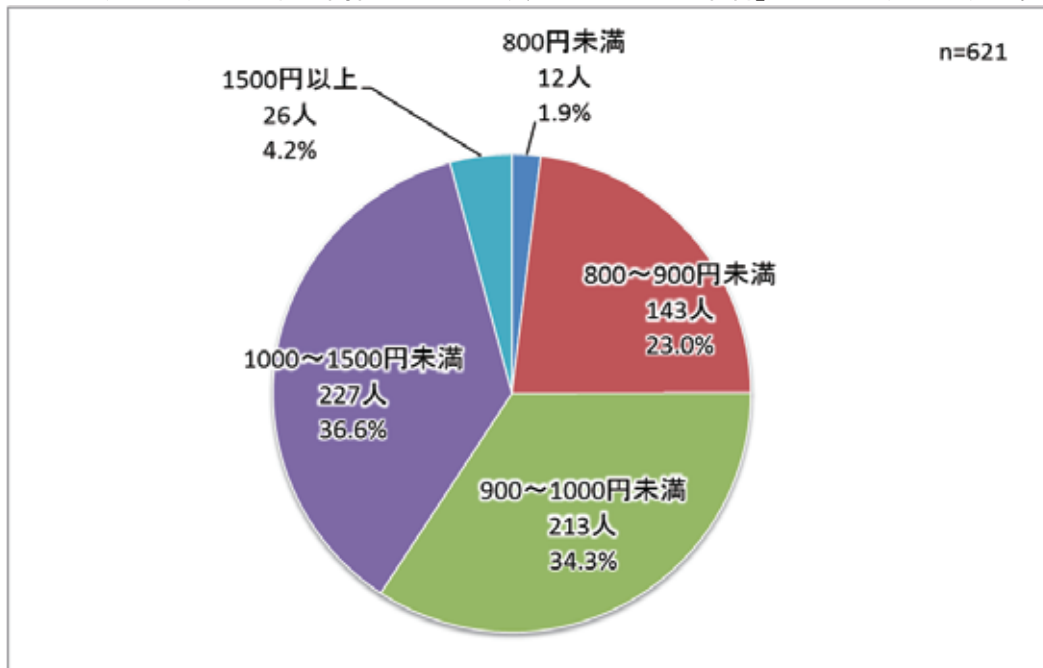
雇用形態でパートタイムと回答した場合の勤務終了時間では、「15時まで」が177人(27.4%)と最も多く、次いで「16時まで」が131人(20.3%)、「14時まで」が111人(17.2%)となり、15時を中心としてその前後でほぼ均等に分布している。



### ①雇用形態 イ、パートタイム 時給

#### 【全体】

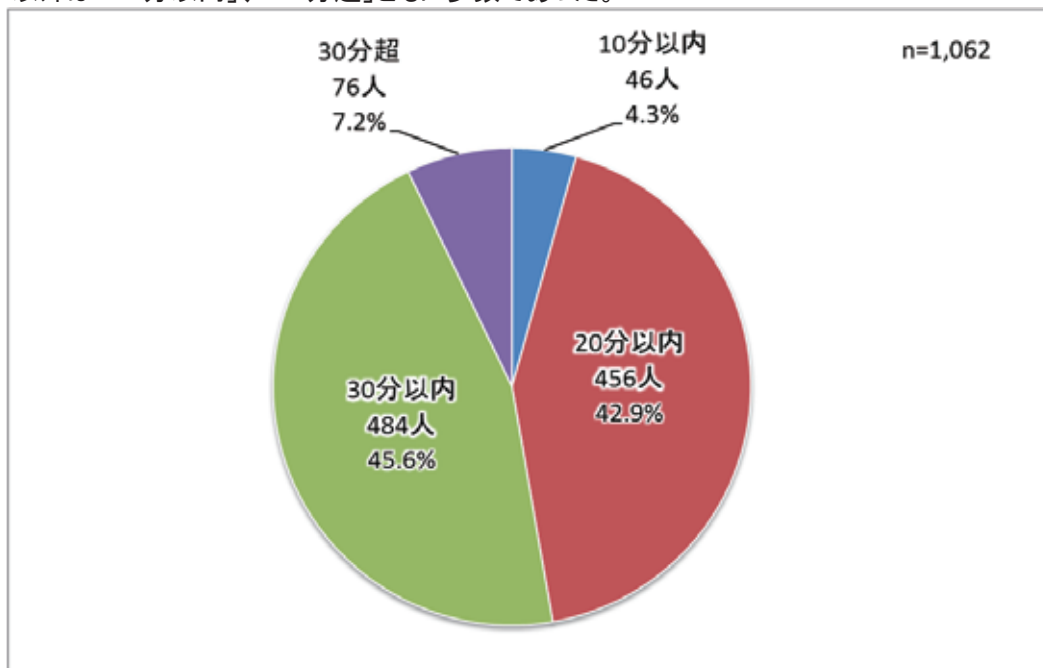
雇用形態でパートタイムと回答した場合の時給では、「1000～1500円未満」が227人(36.6%)、「900～1000円未満」が213人(34.3%)とほぼ同じ割合となっており、「800～900円未満」が143人(23.0%)であった。



### ②通勤時間

#### 【全体】

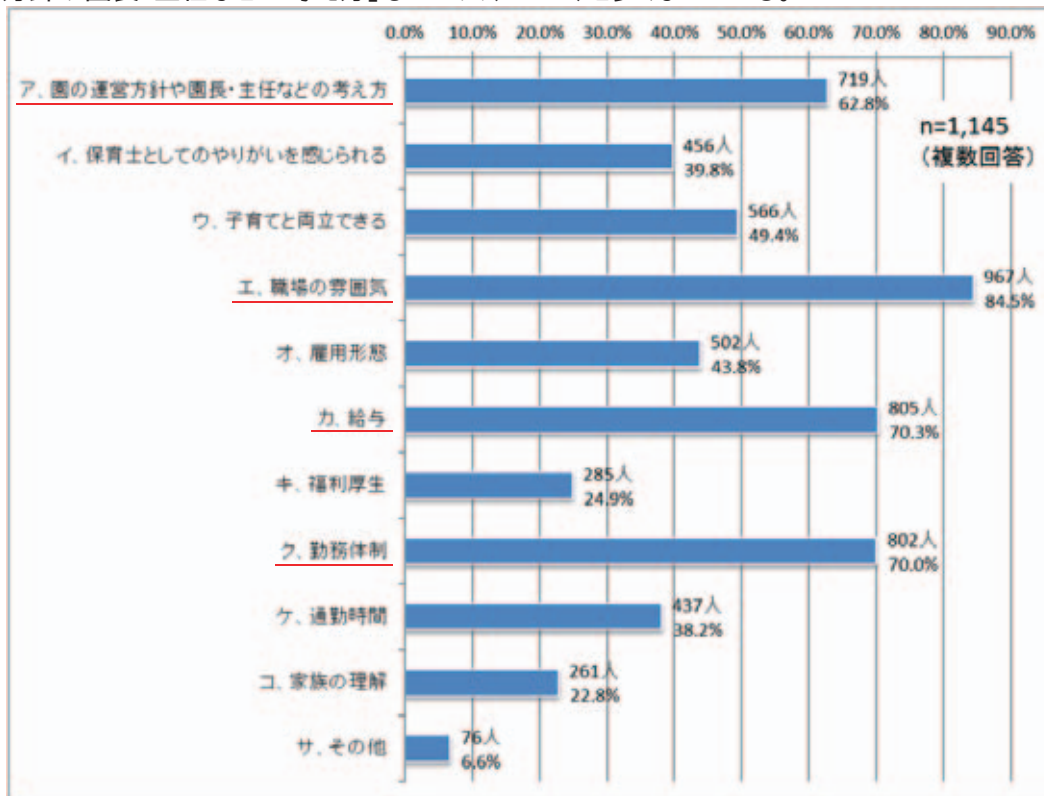
通勤時間では、「30分以内」が484人(45.6%)、「20分以内」が456人(42.9%)とそれぞれ半数近くを占めている。それ以外は「10分以内」、「30分超」ともに少数であった。



### ③就職先を選ぶ上で重視することは何ですか【複数回答】

#### 【全体】

就職先を選ぶ上で重視することでは、回答者 1,145 人(無回答除く)中、「エ、職場の雰囲気」が 967 人(84.5%)と最も多く、次いで、「カ、給与」805 人(70.3%)と「ク、勤務体制」802 人(70.0%)がほぼ同数が多い。また、「ア、園の運営方針や園長・主任などの考え方」も 719 人(62.8%)と多くなっている。

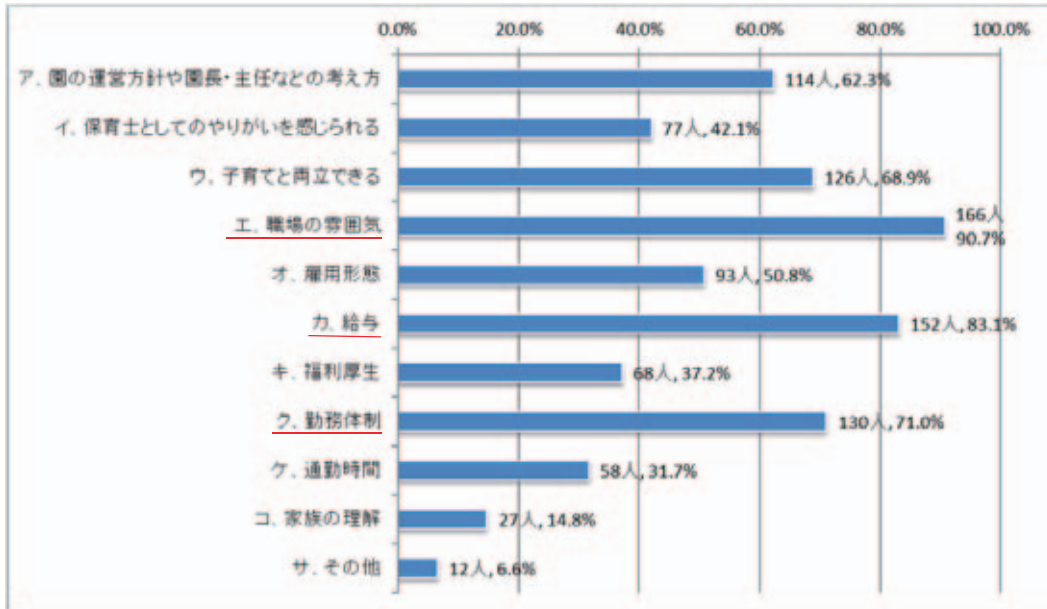


## 【年齢別】

就職先を選ぶ上で重視することの年齢別クロス集計では、回答者 1,136 人(無回答除く)に対して、年齢別に下記の通りとなっている。

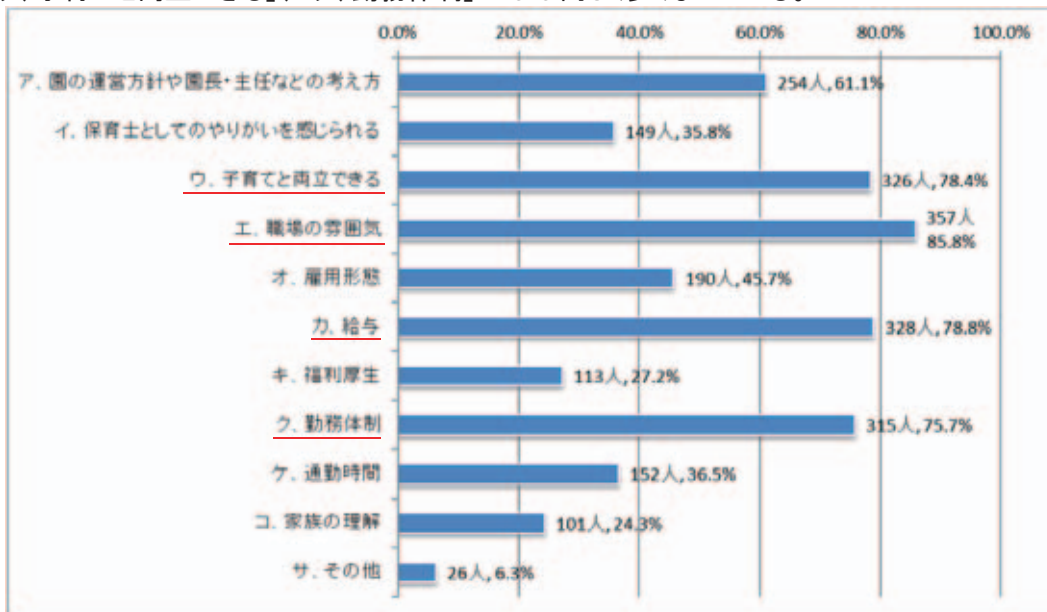
### <20 代>

「エ、職場の雰囲気」が 20 代 183 人(無回答を除く)中 166 人(90.7%)で最も多く、次いで「カ、給与」、「ク、勤務体制」と続いている。



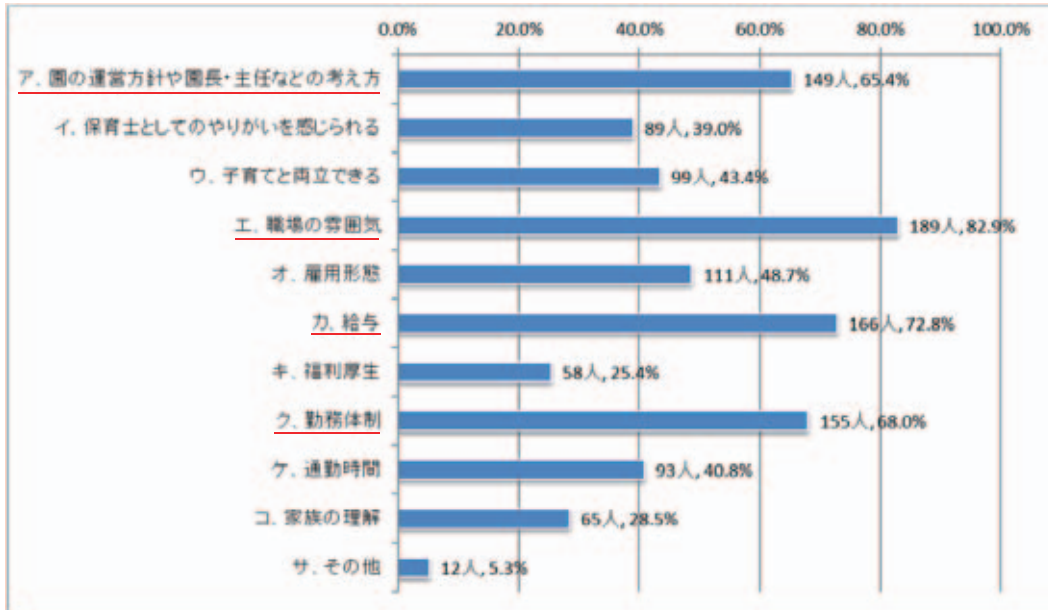
### <30 代>

30 代も、416 人(無回答を除く)中 357 人(85.8%)が最も多く「エ、職場の雰囲気」と回答しており、次いで「カ、給与」、「ウ、子育てと両立できる」、「ク、勤務体制」がほぼ同じく多くなっている。



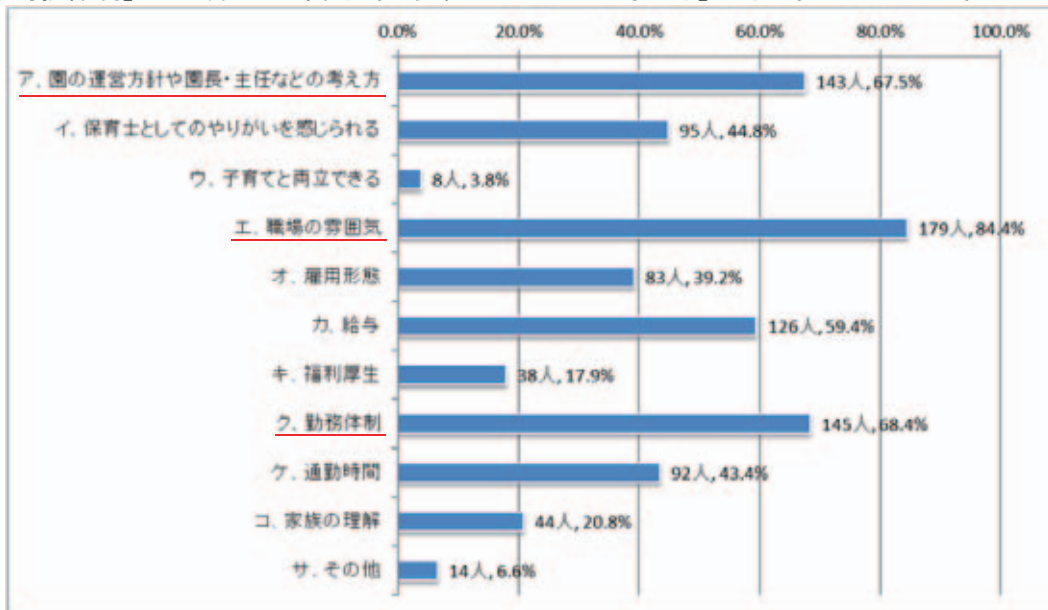
<40代>

40代も228人(無回答を除く)中189人(82.9%)が最も多く「エ、職場の雰囲気」と回答しており、次いで「カ、給与」、「ク、勤務体制」と続いているが、「ウ、子育てと両立できる」よりも「ア、園の運営方針や園長・主任などの考え方」が多くなっている。



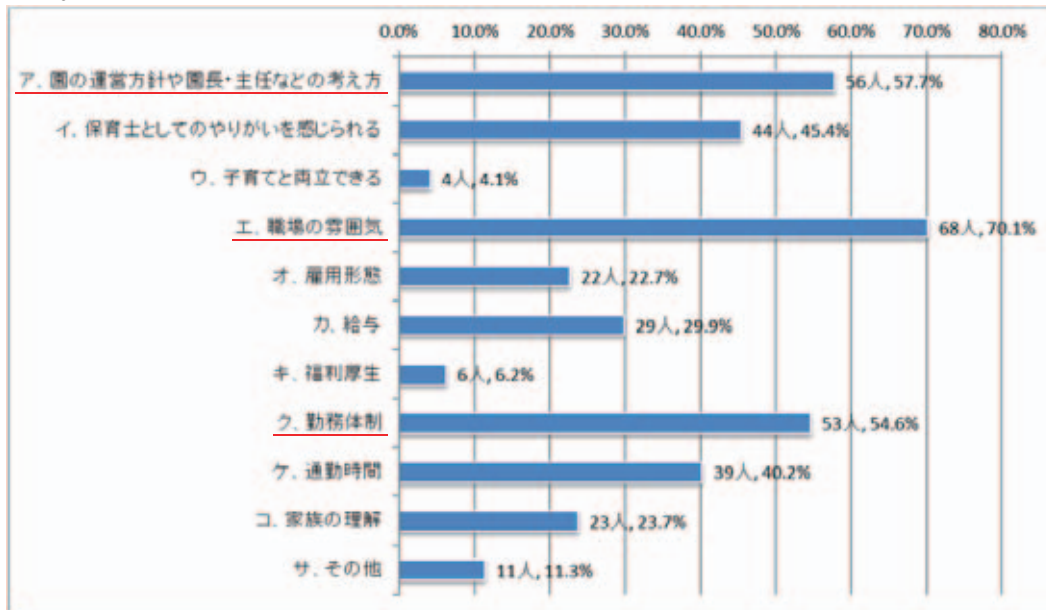
<50代>

50代も最も多いのは212人(無回答を除く)中179人(84.4%)と「エ、職場の雰囲気」であったが、「カ、給与」よりも「ク、勤務体制」や「ア、園の運営方針や園長・主任などの考え方」の方が多くなっている。



<60 歳以上>

60 歳以上も、最も多いのは 97 人(無回答を除く)中 68 人(70.1%)と「エ、職場の雰囲気」であった。「カ、給与」よりも「ク、勤務体制」や「ア、園の運営方針や園長・主任などの考え方」、また「イ、保育士としてのやりがい」が多くなっている。

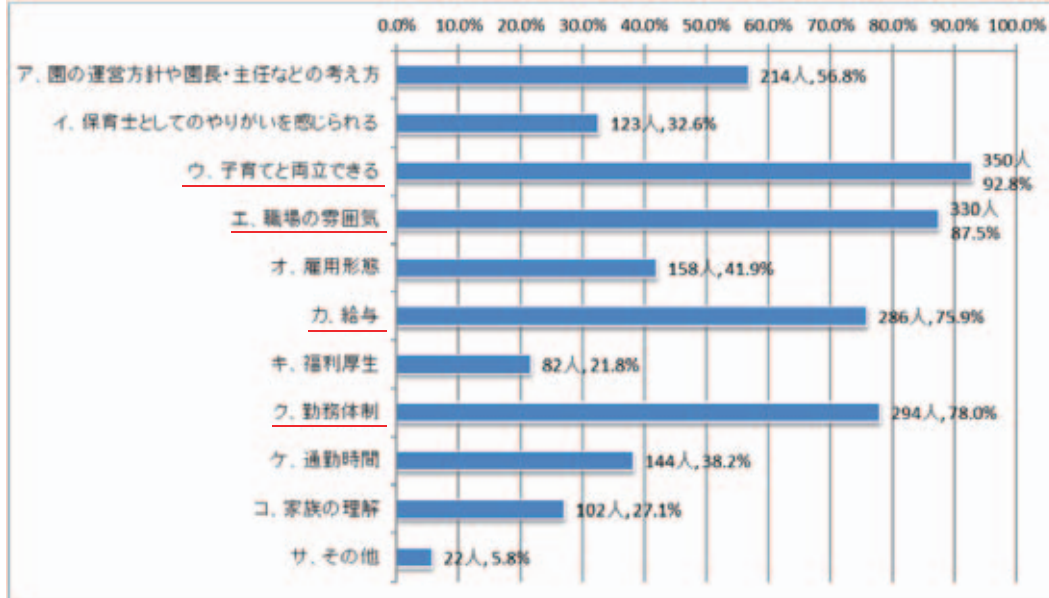




## 【末子の年齢別】

就職先を選ぶ上で重視することの末子の年齢別クロス集計では、5歳未満を抽出し、以下の通りとなっている。

5歳未満377人(無回答除く)中350人(92.8%)で「ウ、子育てと両立できる」が最も多く、次いで「エ、職場の雰囲気」、「ク、勤務体制」、「カ、給与」と続いている。



問8、福島県保育士・保育所支援センターからの就職支援や情報提供（就職説明会、再就職支援セミナー等の開催案内など）の希望者

今後、福島県保育士・保育所支援センターから就職支援や情報提供を受けたいと回答した人は391人で、居住市町村の内訳は以下のとおりであった。

居住地		人数
福島県内		372人
内 訳	・郡山市 80人	・新地町 3人
	・福島市 67人	・川俣町 2人
	・いわき市 58人	・鏡石町 2人
	・須賀川市 20人	・小野町 2人
	・会津若松市 19人	・矢吹町 2人
	・白河市 16人	・矢祭町 2人
	・伊達市 14人	・南相馬市 1人
	・二本松市 11人	・大玉村 1人
	・本宮市 7人	・天栄村 1人
	・桑折町 7人	・石川町 1人
	・田村市 6人	・玉川村 1人
	・相馬市 6人	・浅川町 1人
	・会津美里町 5人	・棚倉町 1人
	・三春町 4人	・塙町 1人
	・西郷村 4人	・磐梯町 1人
	・猪苗代町 4人	・北塩原村 1人
	・只見町 4人	・西会津町 1人
	・喜多方市 3人	・南会津町 1人
	・国見町 3人	・広野町 1人
	・泉崎村 3人	・富岡町 1人
・会津坂下町 3人	・浪江町 1人	
福島県外		17人
不明（メールアドレス登録者）		2人
計		391人

問9、「保育士として働くことへの不安」、「働くために支援が必要だと感じていること」  
主な意見（要旨）

「保育士として働くことへの不安」

- 業務量、労働時間、休暇、子育てや介護との両立
  - ・ 残業が毎日で、家に帰っても持ち帰りの仕事があり、休日も無い。
  - ・ 希望する時間帯の求人がない。
  - ・ 休憩時間のほとんどを、仕事をする時間にあてるしかない。
  - ・ サービス残業が多い。
  - ・ 保育士の数が少ない。書類作成など保育以外の業務が多い。
  - ・ 自分の子どもとの時間が持てない。（子どもの体調不良時など）
  - ・ 職場復帰をしようにも自分の子どもを預けることができない。
  - ・ 介護を必要とする家族がいると、現在の保育士の労働環境では、再就職に踏み出せない。
  
- 職場の人間関係
  - ・ 親への対応など精神的な負担が大きい。
  - ・ 職場のコミュニケーションが不足し、人間関係の悩みがある。
  - ・ 園長からのパワハラを感じていた。
  - ・ 女性が多い職場になってしまうため、人間関係のもつれが不安。
  
- 給与・賞与
  - ・ 命を預かり育む仕事に対して、給料面での対価が低い。
  - ・ 給与が他の職種と比較して低い。
  - ・ 保育士として働きたい意欲はあるが給与・収入面での折り合いがつかない施設がない。
  - ・ 男性が保育士として働くためには、給与面の支援が最重要だと思う。
  
- 正規職員・非正規職員
  - ・ 正規職員と非正規職員がいる職場で給与や待遇の面で不公平を感じる。
  - ・ パートだが、担任となり責任が重い。
  - ・ 公立の保育所では臨時職員は正職員と同じように働いているのに給料が上がらない。
  
- 研修、人材育成
  - ・ ブランクの間に色々な面で状況が変わっており、ついていけるか不安。
  - ・ 手遊びや子どもへの関わり方などできるかどうか不安。
  - ・ 経験が豊かな先生は、技能や考えを押しつける傾向があり、若い先生の芽が育ちにくい。

## 「働くために支援が必要だと感じていること」

- 業務量、労働時間、休暇、子育てや介護との両立
  - ・ 柔軟に無理なく働ける時間帯、短時間でも働けるような支援。
  - ・ 雇用者を増やし、突発的な休暇も周りを気にすることなく取得できる環境づくり。
  - ・ 事務職の配置。
  - ・ 家庭に仕事を持ち帰ることなどないように管理者が保育士に対し気を配る必要がある。
  - ・ 書類関係が非常に多く、軽減できる所があるのでは。
  - ・ 配膳や片付け、保育室の掃除等資格を持たない人へ働く場を提供し、保育士の過重労働の半減。
  
- 職場の人間関係
  - ・ 保育士に対する保護者からのクレームに対し、園長が保護者に説明するなど、保育士をフォローする園の姿勢が必要。
  - ・ 保育士の精神衛生上の体制づくりが必要。
  - ・ 保育士として働いている人のストレスの相談窓口があれば。
  - ・ 保護者対応についての研修、職場内での人間関係が上手くいくための研修が必要。
  
- 給与・賞与
  - ・ もっと給与を増やせば、保育士の仕事につく人は沢山居るはず。
  - ・ 保育士の処遇改善が賃金として反映されること。
  - ・ 賃金の上昇と同時に、休みたい時に休むことができるような人的補てんを含め、もっと政策的に保育士の地位向上を望む。
  
- 正規職員・非正規職員
  - ・ フルタイムで働く非正規職員には、正規の給与に近づけるような賃金整備
  - ・ 公立保育所の臨時・嘱託保育士の待遇改善。
  - ・ 正規職員の採用試験、年齢を問わず登用、職員採用。
  
- 研修、人材育成
  - ・ 保育士の補助的な業務を行うなど、周りを見て学ぶ実践研修の機会が必要。
  - ・ 再就職支援セミナーの開催。
  - ・ 管理職への教育、OJT等の受入側の環境づくり

### Ⅲ 卷末資料

#### 1. 現況調査

## 福島県に保育士登録をされている皆様へ 福島県からのお願い

新緑の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

福島県では、保育所待機児童の解消をはじめ今後も見込まれる保育ニーズの増大に対応するため、保育士の方が安心して働き続けられる環境の整備や、何らかの理由で今は働いていない保育士資格をお持ちの方の就労を支援するなどの取組みが必要と考えております。

そこで、この度、福島県に保育士登録をされている約 20,000 人の方に、保育士としての現在の就労の有無や、今後、福島県子育て支援課と福島県社会福祉協議会「保育士・保育所支援センター（※）」が共同で行う「保育士として就労されていない方に対するアンケート調査」への協力の可否について確認させていただくことといたしました。

お忙しいとは存じますが、趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願いいたします。

福島県子育て支援課長 細川了

#### 《お問い合わせ先》

福島県子ども未来局 子育て支援課 保育士アンケート担当

電話:024-521-1111 内線2680

電話の受付時間:8:30~17:15 (土日祝日は除く)

メール:kosodate@pref.fukushima.lg.jp

※ お問合せは、電話かメールで御連絡ください。また、お問い合わせの際は、「保育士アンケートの件」とお話しいただくとスムーズです。

登録時住所

氏名

No.

(記入日) 平成 年 月 日

## 回 答 票

**【問1】** 現在の就労状況についてお聞きします。保育士の資格を活かして仕事に就いていますか。  
(該当する内容に  を付けてください。以下同じ。)

- 保育士として仕事に就いている** → 質問は以上です。ありがとうございました。
- 現在、仕事に就いていない又は、保育士以外の仕事に就いている** → **【問2】**へ

**【問2】**【問1】で、「現在、仕事に就いていない又は、保育士以外の仕事に就いている。」と回答された方にお聞きします。  
「保育士として就労されていない方に対するアンケート調査」を行いたいのですが、御協力いただけますか。

**アンケート調査に協力する**

→ 後日、福島県子育て支援課と福島県社会福祉協議会「保育士・保育所支援センター(※1)」が共同で行うアンケート調査票を郵送しますので、今回お送りした**住所、氏名に変更がある場合は、記入してください。**

**住所、氏名を変更した場合(変更後)**

住所	〒
氏名	

**アンケート調査に協力しない**

質問は以上です。

御回答いただきまして、ありがとうございました。

お手数ですが、この回答票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、**6月16日(金)までに返送**してください。

※1 「保育士・保育所支援センター」は、保育士として就業されていない方の就職支援を行うこと等を目的として、全国の都道府県・中核市などに設置されており、福島県では、福島県社会福祉協議会内に「福島県保育士・保育所支援センター」を開設しています。

## 2. 実態調査

### 保育士として就労されていない方に対する アンケート調査のお願い

先日は、「保育士として就労されていない方に対するアンケート調査」への協力について御承諾いただき、ありがとうございました。

この調査においては、保育の仕事を辞めた理由や、(再)就職に当たって障害となること等をお聞きし、今後の本県の施策に反映させていきたいと考えております。

お忙しいこととは存じますが、趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願いいたします。

福島県子育て支援課長 細川 了

福島県社会福祉協議会事務局長 熊川 恵子

#### 《アンケート調査のお問い合わせ先》

福島県保育士・保育所支援センター（福島県社会福祉協議会内）

電話：024-521-5662

電話の受付時間：8：30～17：15（土日祝日は除く）

メール：[jinzai@fukushimakenshakyō.or.jp](mailto:jinzai@fukushimakenshakyō.or.jp)

※ この調査は、福島県が「福島県保育士・保育所支援センター」に委託して実施しています。

※ 「保育士・保育所支援センター」は、保育士として就労されていない方の就職支援を行うこと等を目的として、全国の都道府県・中核市などに設置されており、福島県が福島県社会福祉協議会内に「福島県保育士・保育所支援センター」を開設しています。

※ お問い合わせは、電話かメールで御連絡ください。また、お問い合わせの際は、「保育士アンケートの件」とお話しいただくとスムーズです。

# 平成29年度

## 「保育士として就労されていない方に対するアンケート調査」

### 調 査 票

御協力いただける皆様へ

アンケート調査について

- この調査は、福島県に保育士登録をされ、6月に「保育士として就労されていない方に対するアンケート調査」に「協力いただける」と回答された方を対象に、アンケート調査を実施するもので、「福島県保育士・保育所支援センター」が福島県の委託を受けて実施します。
- 回答は無記名ですが、福島県保育士・保育所支援センターからの情報等提供を希望される方は氏名等を御記入ください。記入いただいた個人情報は、福島県保育士・保育所支援センターからの情報提供以外の目的で使用することはありません。
- 調査票は、平成29年7月28日（金）までに、返信してください。
- ご多忙の折とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、調査票の回答にご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

福島県 こども未来局 子育て支援課  
福島県保育士・保育所支援センター  
(社会福祉法人福島県社会福祉協議会内)

#### 問1、基本属性

- 性別 ( 男 ・ 女 ・ 無回答 )
- 年齢 満 ( ) 歳 ※平成29年7月1日現在で記入
- 子どもの有無 ( 有 ・ 無 )  
子どもの数 ( ) 人、末子の年齢 満 ( ) 歳
- 居住市町村 福島県内(市町村名 ) 、 福島県外(都道府県名 )
- 資格取得方法
  - ア、保育士養成校を卒業
  - イ、保育士試験合格



問2、現在の就業状況を教えてください。(○は1つ)

- ア、現在、保育士（保育教諭含む。以下同じ。）以外の職種で働いているが、過去には保育士として働いた経験がある
- イ、現在、保育士以外の職種で働いており、過去にも保育士として働いた経験はない
- ウ、現在、働いてはいないが、過去には保育士として働いた経験がある
- エ、現在、働いてはいないが、過去に保育士以外の職種で働いた経験がある
- オ、現在、働いておらず、過去にも職種問わず働いた経験はない

問3、保育士として仕事をしていない期間（いわゆるブランク）は何年ぐらいになりますか

保育士として仕事経験がある方は辞めてからの期間、経験が無い方は資格取得後の期間を記入  
( ) 年

問4、【保育士として働いたことのある方のみ、問2でア・ウと答えた方】

保育士（保育教諭を含む）としての仕事を辞めた理由としてあてはまるものは何ですか  
(あてはまるものを5つ以内)

- ア、結婚
- イ、妊娠、出産
- ウ、子育てとの両立が難しい
- エ、健康上の理由（体力含む）
- オ、家族の事情（夫の転勤、家族の介護 等）
- カ、給与への不満
- キ、勤務体制（勤務時間、シフト体制）への不満
- ク、休暇が取れない（取りにくい）
- ケ、仕事量の多さ（記録等の事務、雑務等）
- コ、福利厚生への不満（具体的に )
- サ、自分への評価に対する不満
- シ、職場の人間関係
- ス、施設の方針になじめなかった
- セ、教育・研修体制が充実していない
- ソ、キャリアアップの機会がない
- タ、保護者対応等への心労
- チ、他職種への興味
- ツ、保育士に向かないと感じた
- テ、その他 ( )

問5、【保育士として働いたことのない方のみ、問2でイ・エ・オと答えた方】

これまでに保育士として働かなかった理由は何ですか（あてはまるものを全て）

- ア、そもそも保育士の求人情報が無かった  
 イ、求人の情報はあったが、希望する条件に合致する求人が無かった  
 ウ、保育士として働こうと就職活動をしたが、採用されなかった  
 エ、自分は保育士に向かないと感じた  
 オ、はじめから保育士として働く意思はなかった  
 カ、働く必要がなかった  
 キ、家族の意向で保育士として就職しなかった  
 ク、その他（ ）

問6、保育士として仕事をすることについてのあなたのお気持ちについてお聞かせください（○は1つ）

- ア、自分の条件に合う求人があれば、すぐにでもやってみたいと思う  
 イ、現在の職場より良い雇用条件のところがあれば、考えても良いかと思う  
 ウ、子育てと両立できる環境（保育所入所など）が整えば、やってみたいと思う  
 エ、子育てが一段落し、働ける環境が整えば、やってみたいと思う  
 オ、働ける環境（子育て以外）が整えば、やってみたいと思う  
 カ、就職のための現地研修や現場体験等があれば、それに参加した上で、就職を考えてみたいと思う  
 キ、どんな条件があっても保育士として働くつもりはない  
     ↳その理由（ ）

問7、【問6でア～オに○を付けた方のみ】

あなたが今後保育士として働く場合に求める条件をお聞かせください

- ①雇用形態 ア、フルタイム（正規職員）年収（ ）万円以上  
             イ、パートタイム 1日（ ）時間程度、週（ ）日以上  
                         時間帯（ ）時～（ ）時  
                         時給（ ）円以上
- ②通勤時間 片道（ ）分以内
- ③その他、就職先を選ぶ上で重視することは何ですか（あてはまるものを全て）
- ア、園の運営方針や園長・主任などの考え方  
 イ、保育士としてのやりがいを感じられる  
 ウ、子育てと両立できる  
 エ、職場の雰囲気  
 オ、雇用形態（正規・非正規職員）  
 カ、給与  
 キ、福利厚生（具体的に ）  
 ク、勤務体制（勤務時間、シフト体制等）  
 ケ、通勤時間  
 コ、家族の理解  
 サ、その他（ ）

問8、福島県では、福島県保育士・保育所支援センターが、保育士として働きたい方のための相談や就職支援を行っています。今後、福島県保育士・保育所支援センターから就職支援や情報提供（就職説明会、再就職支援セミナー等の開催案内など）を希望される方は、下記枠内に必要事項を記入ください。

(ふりがな) お名前	(姓)	(名)
ご住所	〒	
電話番号		
メールアドレス (※任意)		

※上記の目的以外で使用することはありません。

問9、最後に、あなたが「保育士として働くことへの不安」や「働くために支援が必要だと感じていること」など、考えておられることを是非、お聞かせください。

ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒にて、返送してください。

平成29年度  
福島県保育士登録者へのアンケート調査  
報告書

発行：平成30年3月

発行者：福島県こども未来局子育て支援課

〒960-8670 福島市杉妻町 2-16

電話：024-521-8205 FAX：024-521-7747

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21035b/>

E-mail：kosodate@pref.fukushima.lg.jp

社会福祉法人福島県社会福祉協議会

福島県保育士・保育所支援センター

〒960-8141 福島市渡利字七社宮 111

(福島県総合社会福祉センター内)

電話：024-521-5662 FAX：024-521-5663

<http://www.fukushimakenshakyo.or.jp>

E-mail：jinzai@fukushimakenshakyo.or.jp